

# 八代市立地適正化計画(案)

令和7年(2025年)3月

## 目次

<b>第7章 防災指針</b> .....	<b>1</b>
7-1 防災指針とは.....	1
(1) 防災指針の考え方 .....	1
(2) 防災指針の検討の流れ.....	1
7-2 災害リスク分析.....	2
(1) 災害ハザード情報の整理 .....	2
(2) 災害リスク分析 .....	3
7-3 防災上の課題の抽出.....	28
7-4 地域生活拠点区域の災害リスク分析及び課題の抽出.....	29
(1) 地域生活拠点区域の災害ハザード情報の整理と災害リスク分析 .....	29
(2) 地域生活拠点区域の防災上の課題の抽出.....	34
7-5 防災まちづくりの将来像および取組方針の設定.....	35
(1) 防災まちづくりの将来像 .....	35
(2) 防災上の課題を踏まえた取組方針.....	35
(3) 災害リスク別の取組方針の設定.....	36
7-6 具体的な取組とスケジュール .....	38
7-7 防災まちづくりにおける目標値の設定.....	40
<b>第8章 計画の目標及び評価方法</b> .....	<b>41</b>
8-1 計画の目標値.....	41
(1) 基本的な考え方 .....	41
(2) 本計画における目標値設定の考え方 .....	41
(3) 目標値の設定.....	42
8-2 計画の評価と見直し.....	44

## 第7章 防災指針

### 7-1 防災指針とは

#### (1) 防災指針の考え方

近年、自然災害が頻発・激甚化しており、災害リスクを踏まえた災害に強いまちづくりの重要性が高まっています。

防災指針は、都市のコンパクト化と併せて災害に強い安全なまちづくりを推進するため、災害リスクを踏まえた誘導区域を設定するとともに、居住誘導区域内に残存する災害ハザードエリアに対する適正な防災・減災対策に取り組むための指針です。

#### (2) 防災指針の検討の流れ

防災指針の検討にあたっては、以下について検討する必要があります。

- ・ 立地適正化計画の対象とする地域の災害リスクの分析、災害リスクの高い地域の抽出
- ・ 大規模災害を想定した復興まちづくりの目標や実施方針の事前検討
- ・ リスク分析を踏まえた居住誘導区域等の精査、既に設定している居住誘導区域等の変更
- ・ 居住誘導区域等における防災・減災対策の取組方針及び地区ごとの課題に対応した対策

これらは、立地適正化計画で目指すまちづくりの方針（ターゲット）と整合を図りながら、検討する必要があります。あわせて、現に居住誘導区域外で生活している居住者の安全を確保するための取組についても、避難路・避難場所を整備する場合には居住誘導区域外の居住者の利用も考慮して位置・規模を検討するなどの検討が必要です。

（「立地適正化計画作成の手引き」（令和6年4月改定）より）

## 7-2 災害リスク分析

### (1) 災害ハザード情報の整理

災害リスク分析にあたっては、災害ハザード情報を網羅的に収集・整理する必要があります。

本市の居住誘導区域の災害リスクによる影響を把握するため、以下のハザード情報について、第1章1-2(8) 災害ハザードエリアの状況で整理しています。

居住誘導区域内においては、次の表のとおり、災害ハザードが存在します。

#### ■災害ハザード情報一覧（居住誘導区域内）

項目	災害ハザード情報	備考	本庁及び 八代駅 周辺	新八代駅 周辺	高田	鏡	日奈久
洪水	浸水想定区域 (想定最大規模)		○	○	○	○	○
	家屋倒壊等氾濫想定区域 (想定最大規模)	氾濫流 河岸浸食	—	—	—	—	—
	浸水継続時間 (想定最大規模)		○	○	○	○	○
	浸水想定区域 (計画規模)		○	○	○	○	○
	浸水想定区域 (多段階：1/10、1/30、 1/50、計画規模) ・現況（R3年度） ・短期整備後（R11年度 末）	球磨川 水系のみ	○	○	○	○	○
高潮	浸水想定		○	○	○	○	○
津波	浸水想定区域		○	—	○	○	○
土砂	土砂災害警戒区域		○	—	○	—	○
	土砂災害特別警戒区域		—	—	—	—	—
	急傾斜地崩壊危険区域		—	—	—	—	—
大規模盛土造成地※1			—	—	—	—	—
地震	地震による揺れやすさ		○	○	○	○	○
	地震による建物の全壊率		○	○	○	○	○

※1 大規模盛土造成地は都市計画区域内に存在しない。

## (2) 災害リスク分析

ここでは、収集・整理した災害ハザード情報と都市の情報を重ね合わせ、その地域でどのような災害リスクがあるかについて分析し、地域ごとに災害リスクのある地区を抽出します。

なお、洪水浸水想定区域のデータによる分析については、居住誘導区域内での災害リスクを重視して分析するため、想定最大規模の浸水想定区域との重ね合わせを行うこととします。

また、地震のリスクについては、影響の範囲や程度を即地的に定めることに限界があり、本計画による災害リスクのコントロールが困難であることから、分析の対象からは除外しますが、地震リスクへの対応として、防災機能の向上を目指し、全市的に建物の耐震化の推進に取り組んでいきます。

### ■ リスク分析の視点 災害ハザード情報と都市の情報の重ね合わせ一覧

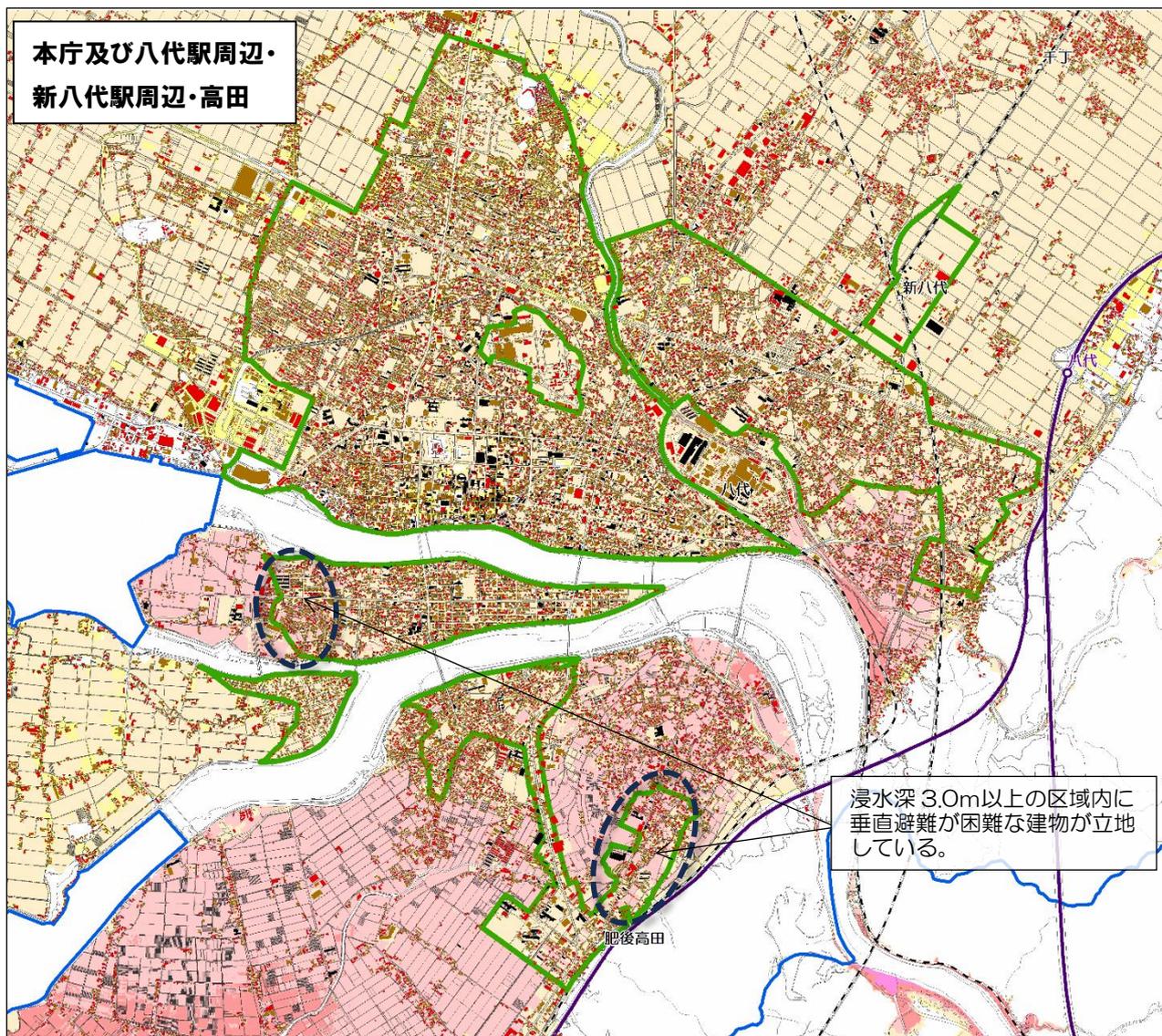
災害ハザード情報		都市の情報	分析の視点
洪水	浸水想定区域	建物階数	①垂直避難への対応の可能性
	浸水継続時間	避難場所	②避難場所の活用の可能性
	家屋倒壊等氾濫想定区域	都市機能 (医療・福祉施設等)	③都市機能(医療・福祉施設等)の継続の可能性
高潮	浸水想定		④長期にわたる孤立の可能性
津波	浸水想定区域	建物用途 (住宅・非住宅)	⑤施設の継続利用の可能性
土砂災害	土砂災害警戒区域	建物構造 (木造・非木造)	⑥家屋倒壊の危険性
	土砂災害特別警戒区域		
	急傾斜地崩壊危険区域		

①垂直避難への対応の可能性

**洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 建物階数**

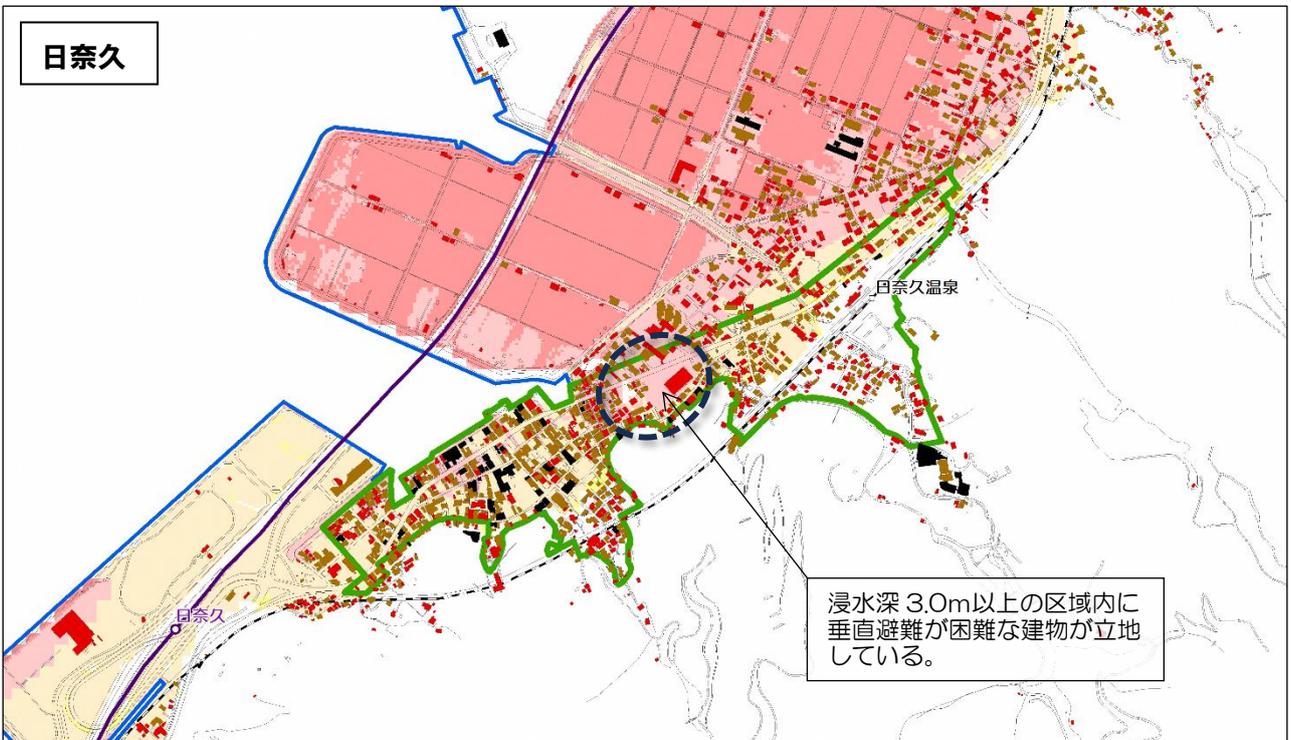
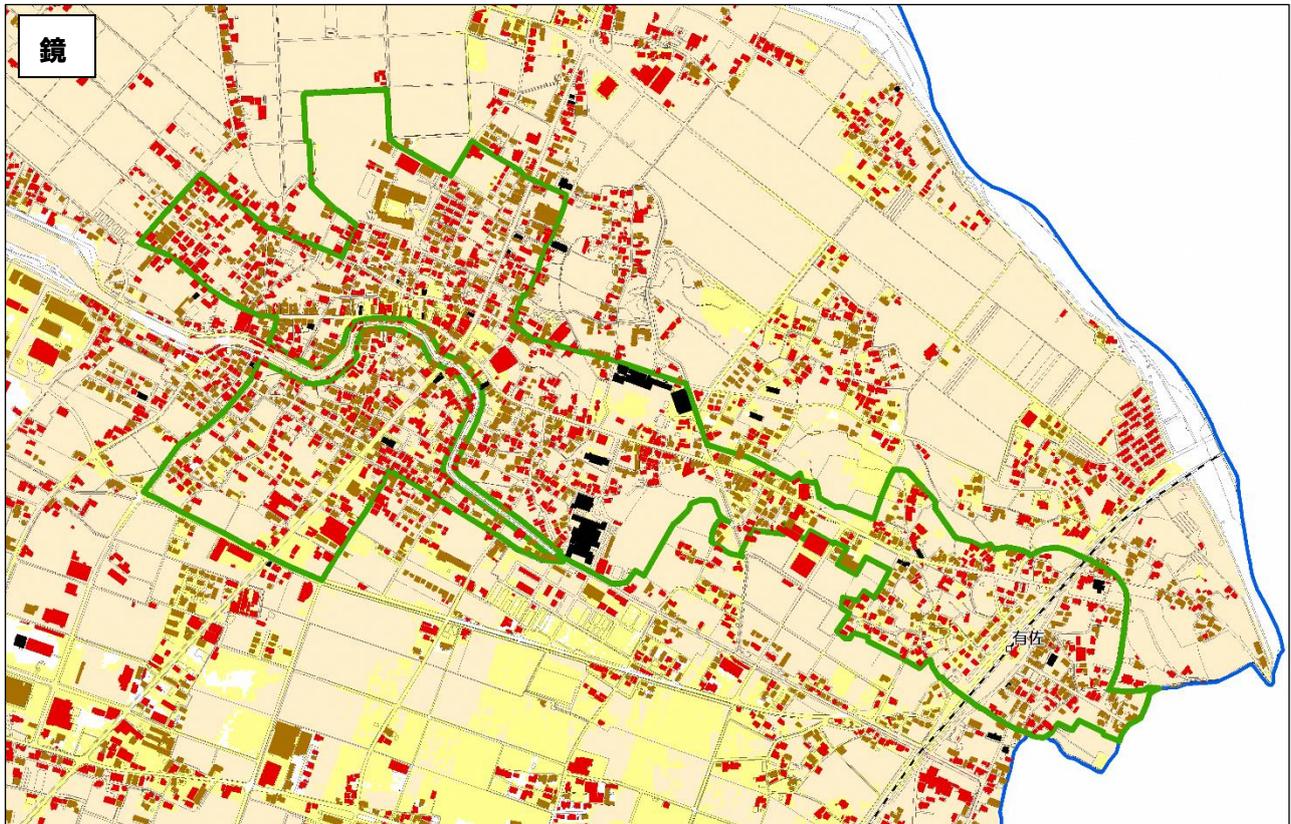
- 居住誘導区域の殆どの区域が、浸水深 0.5m未満、または、0.5~3.0m未満の洪水浸水想定区域となっています。
- 肥後高田駅北側や古城町付近、日奈久温泉駅西側において、浸水深 3m以上の洪水浸水想定区域が一部含まれており、中には垂直避難が困難な1階建ての建物が立地していますが、高齢者の徒歩圏内に避難所が立地しています。

図：洪水浸水想定区域（想定最大）×建物階数



- |  |  |   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>⊃ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>◎ 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>■ 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水想定区域（想定最大規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.0~0.5m未満</li> <li>■ 0.5~3.0m未満</li> <li>■ 3.0~5.0m未満</li> <li>■ 5.0~10.0m未満</li> <li>■ 10.0~20.0m未満</li> <li>■ 20.0m以上</li> </ul> | <p>建物階数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1階建</li> <li>■ 2階建</li> <li>■ 3階建以上</li> <li>■ 不明</li> </ul> |
|--|--|---|

図：洪水浸水想定区域（想定最大）×建物階数

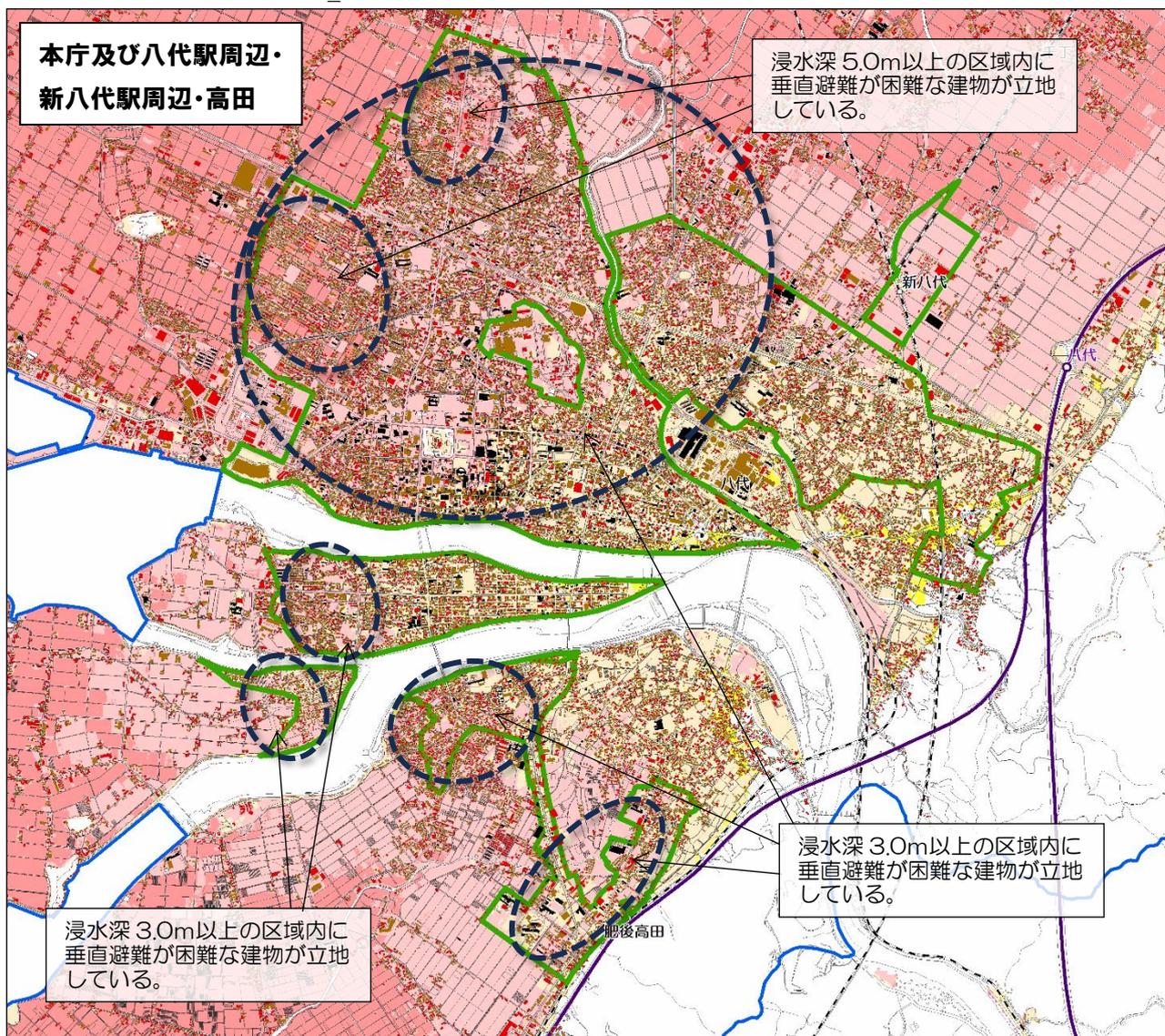


- |   |  |   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">■</span> 居住誘導区域</li> <li><span style="color: purple;">○</span> インターチェンジ</li> <li><span style="color: purple;">—</span> 高速道路</li> <li><span style="color: purple;">∩</span> 鉄道駅</li> <li><span style="color: purple;">—</span> 鉄道路線</li> <li><span style="color: purple;">◎</span> 市役所</li> <li><span style="color: purple;">△</span> 支所</li> <li><span style="color: blue;">■</span> 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水想定区域（想定最大規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: yellow;">■</span> 0.0~0.5m未満</li> <li><span style="color: orange;">■</span> 0.5~3.0m未満</li> <li><span style="color: lightcoral;">■</span> 3.0~5.0m未満</li> <li><span style="color: red;">■</span> 5.0~10.0m未満</li> <li><span style="color: magenta;">■</span> 10.0~20.0m未満</li> <li><span style="color: purple;">■</span> 20.0m以上</li> </ul> | <p>建物階数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: red;">■</span> 1階建</li> <li><span style="color: orange;">■</span> 2階建</li> <li><span style="color: black;">■</span> 3階建以上</li> <li><span style="color: gray;">■</span> 不明</li> </ul> |
|---|--|---|

## 高潮浸水想定 × 建物階数

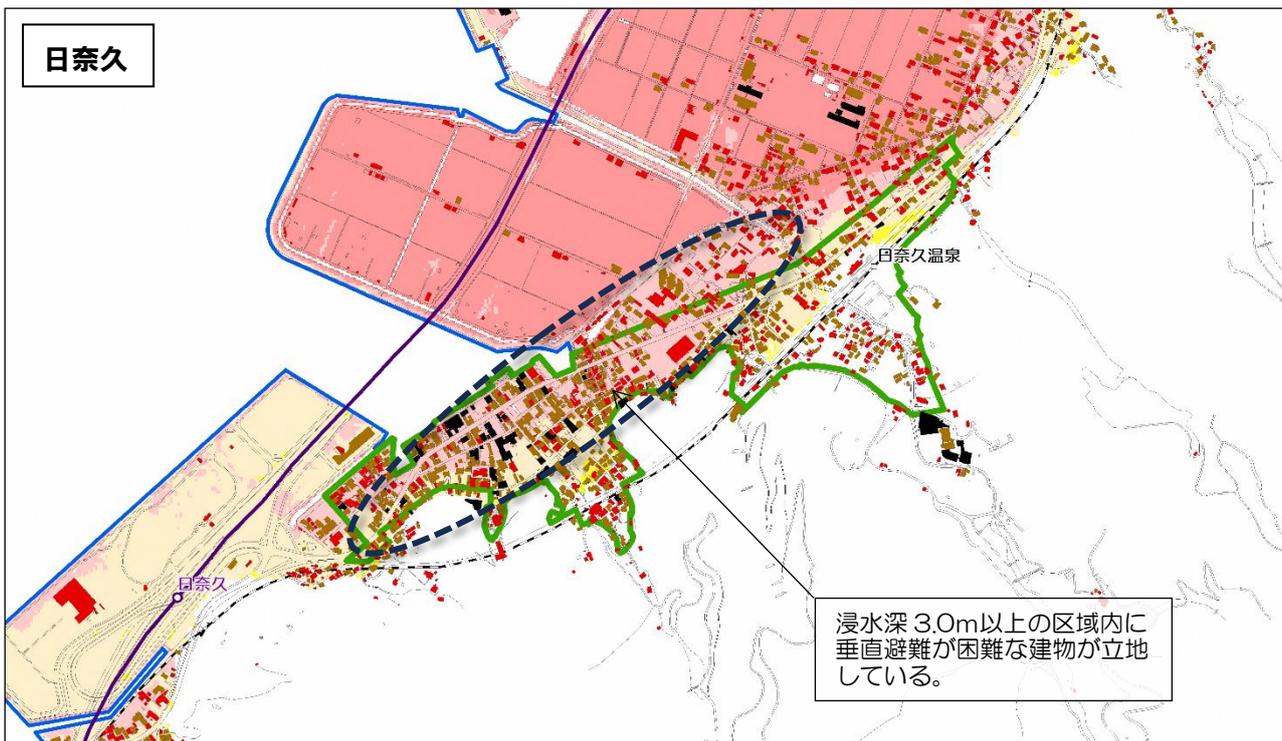
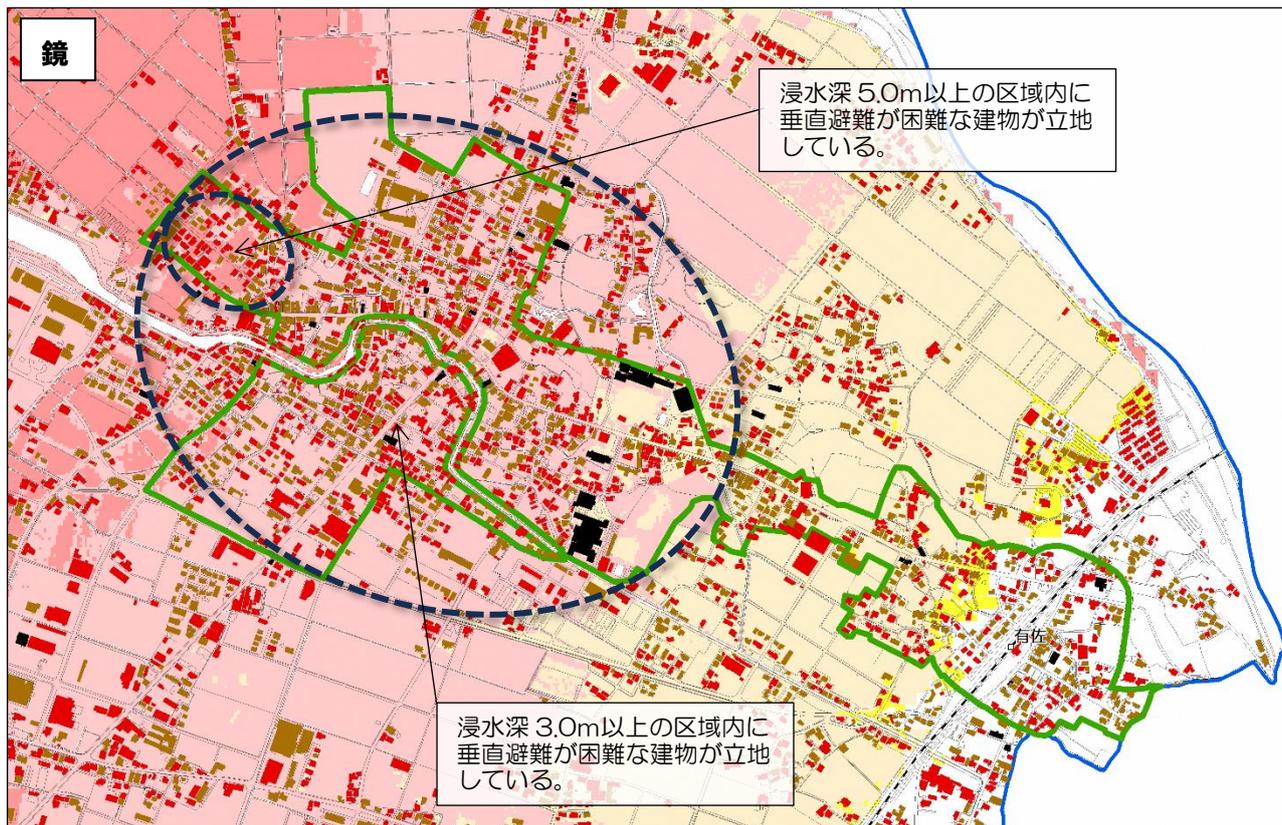
- 有佐駅周辺及び日奈久温泉駅周辺の肥薩おれんじ鉄道より南側を除き、居住誘導区域のほぼ全域が高潮による浸水が想定されます。
- 海に近いエリアにおいては、浸水深 3~5m未満が広範囲に指定されており、垂直避難が困難な 1 階建ての建物も多く見られます。
- 古閑中町、松崎町付近、鏡町鏡付近においては、最大浸水深 5~10mの高潮による浸水が想定される中、垂直避難が困難な 1 階建ての建物も多数立地しています。

図：高潮浸水想定 × 建物階数



居住誘導区域	高潮浸水想定	建物階数
○ インターチェンジ	0.5m未満	■ 1階建
— 高速道路	0.5~3.0m未満	■ 2階建
○ 鉄道駅	3.0~5.0m未満	■ 3階建以上
— 鉄道路線	5.0~10.0m未満	□ 不明
○ 市役所	10.0~20.0m未満	
△ 支所	20.0m以上	
□ 都市計画区域		

図：高潮浸水想定区域×建物階数

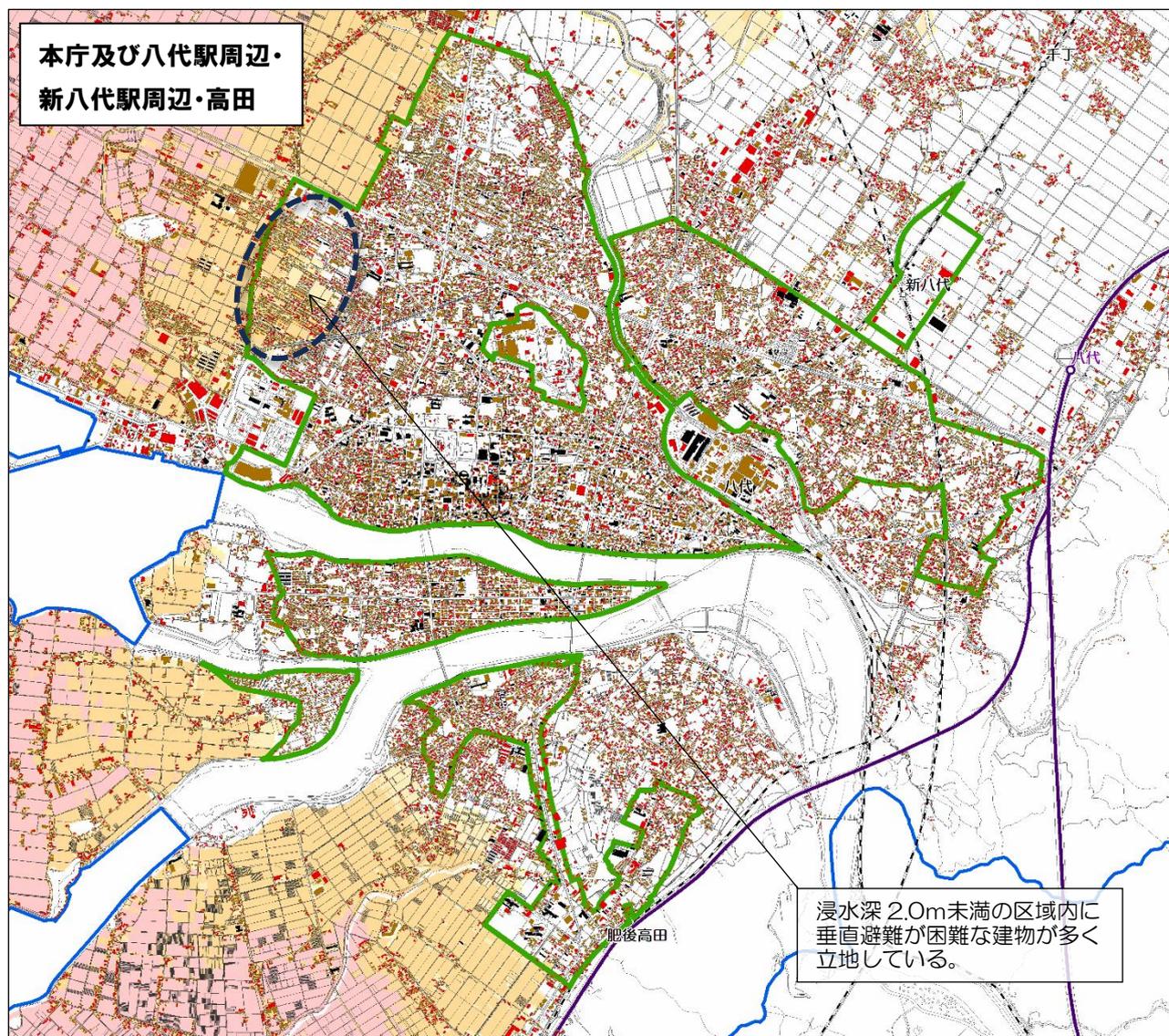


- |  |  |  |
|--|--|--|
| <span style="color: green;">■</span> 居住誘導区域    | 高潮浸水想定   | 建物階数                                       |
| <span style="color: purple;">○</span> インターチェンジ | <span style="color: yellow;">■</span> 0.5m未満     | <span style="color: red;">■</span> 1階建     |
| <span style="color: blue;">—</span> 高速道路       | <span style="color: orange;">■</span> 0.5~3.0m未満 | <span style="color: brown;">■</span> 2階建   |
| <span style="color: black;">□</span> 鉄道駅       | <span style="color: orange;">■</span> 3.0~5.0m未満 | <span style="color: black;">■</span> 3階建以上 |
| <span style="color: black;">—</span> 鉄道路線      | <span style="color: red;">■</span> 5.0~10.0m未満   | <span style="color: grey;">■</span> 不明     |
| <span style="color: black;">○</span> 市役所       | <span style="color: pink;">■</span> 10.0~20.0m未満 |  |
| <span style="color: black;">△</span> 支所        | <span style="color: purple;">■</span> 20.0m以上    |  |
| <span style="color: blue;">□</span> 都市計画区域     |  |  |

## 津波浸水想定区域 × 建物階数

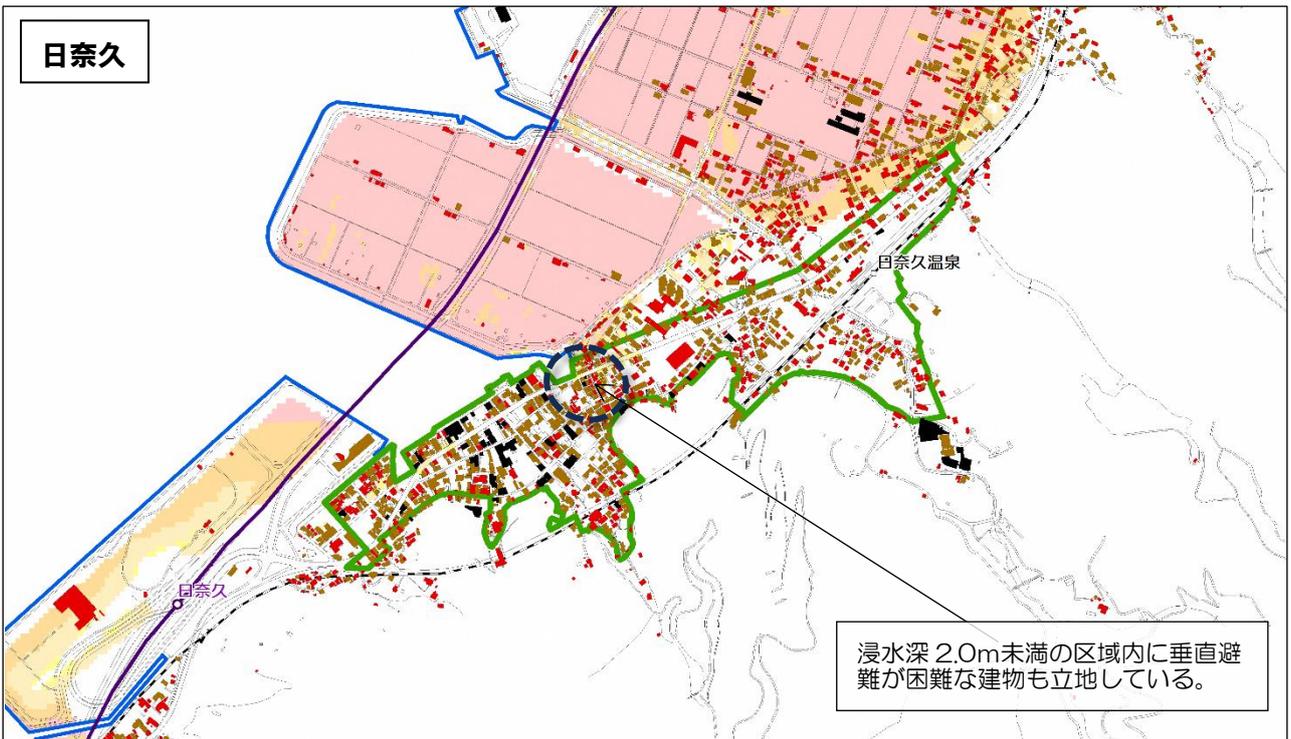
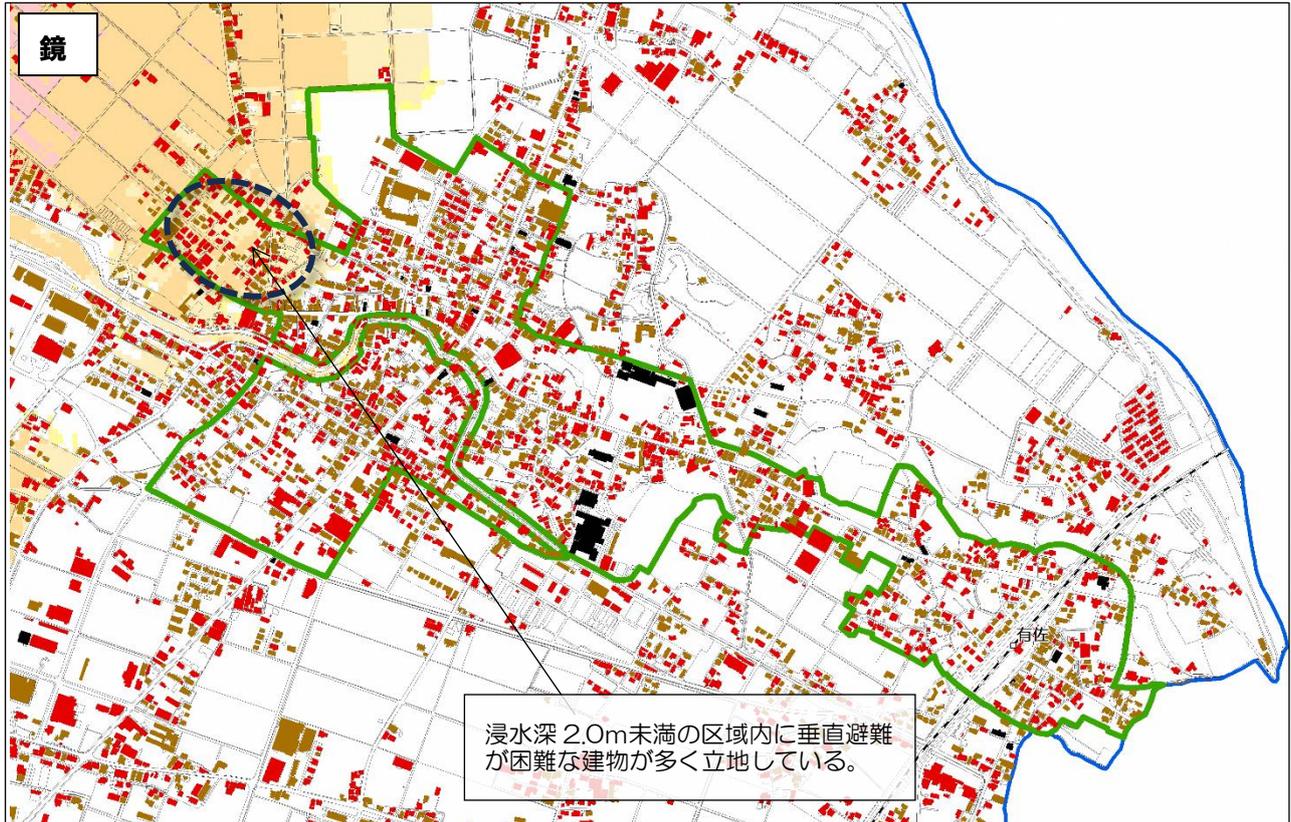
●松崎町、鏡町鏡、日奈久浜町の一部に津波浸水想定区域が設定されており、浸水深が最大1～2m未満の津波浸水想定区域内に垂直避難が困難な1階建ての建物も多く立地しています。

図：津波浸水想定区域×建物階数



- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>⊃ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>⊙ 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>□ 都市計画区域</li> </ul> | <p>津波浸水想定区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.3m未満</li> <li>■ 0.3m以上 ~ 1m未満</li> <li>■ 1m以上 ~ 2m未満</li> <li>■ 2m以上 ~ 5m未満</li> </ul> | <p>建物階数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1階建</li> <li>■ 2階建</li> <li>■ 3階建以上</li> <li>■ 不明</li> </ul> |
|--|---|---|

図：津波浸水想定区域×建物階数



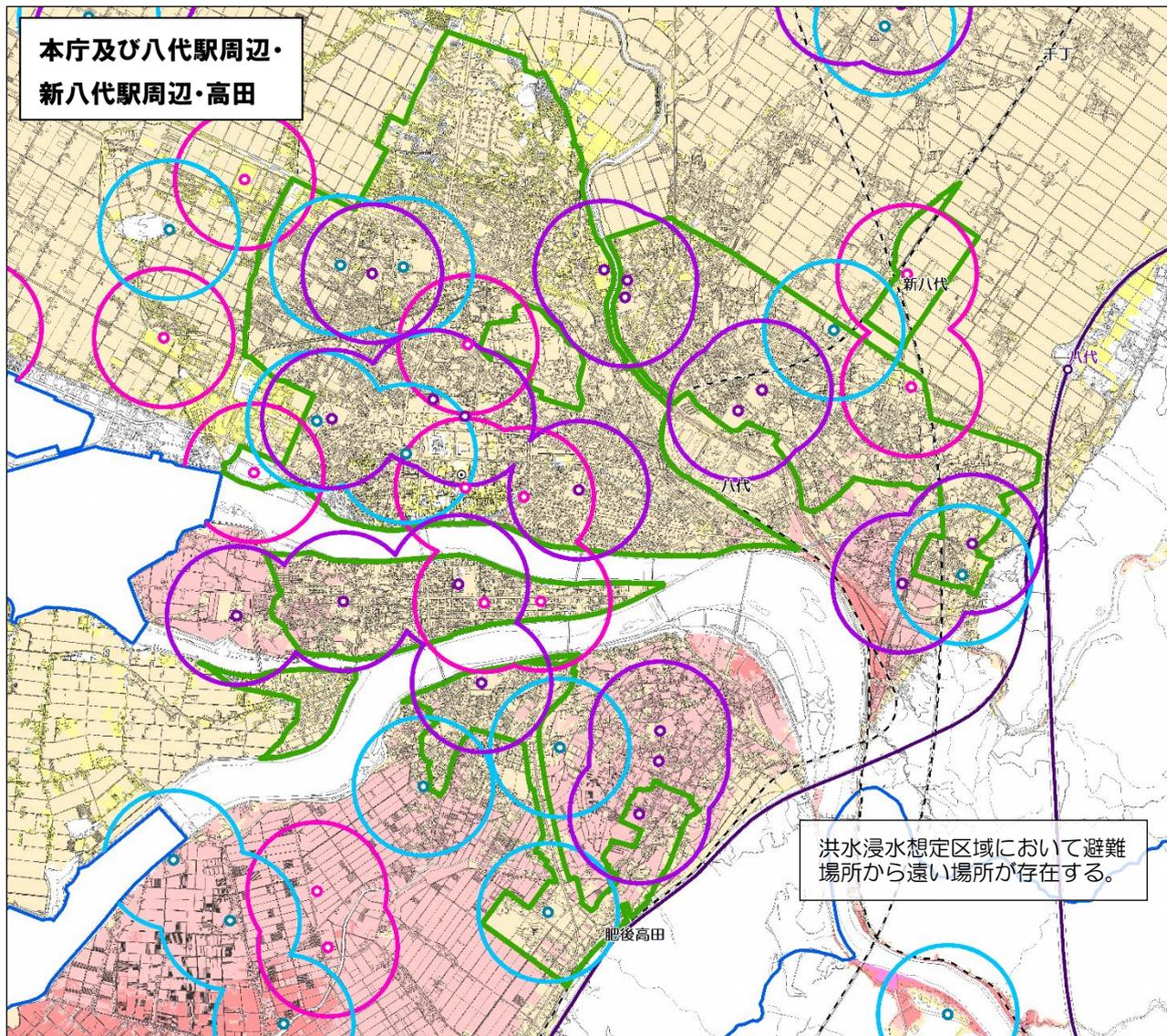
- |   |  |  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">■</span> 居住誘導区域</li> <li><span style="color: purple;">○</span> インターチェンジ</li> <li><span style="color: purple;">—</span> 高速道路</li> <li><span style="color: grey;">□</span> 鉄道駅</li> <li><span style="color: grey;">—</span> 鉄道路線</li> <li><span style="color: grey;">●</span> 市役所</li> <li><span style="color: grey;">▲</span> 支所</li> <li><span style="color: blue;">□</span> 都市計画区域</li> </ul> | <p>津波浸水想定区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: yellow;">■</span> 0.3m未満</li> <li><span style="color: orange;">■</span> 0.3m以上 ~ 1m未満</li> <li><span style="color: red;">■</span> 1m以上 ~ 2m未満</li> <li><span style="color: pink;">■</span> 2m以上 ~ 5m未満</li> </ul> | <p>建物階数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: red;">■</span> 1階建</li> <li><span style="color: brown;">■</span> 2階建</li> <li><span style="color: black;">■</span> 3階建以上</li> <li><span style="color: grey;">■</span> 不明</li> </ul> |
|---|--|--|

②避難場所の活用の可能性

**洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 避難場所**

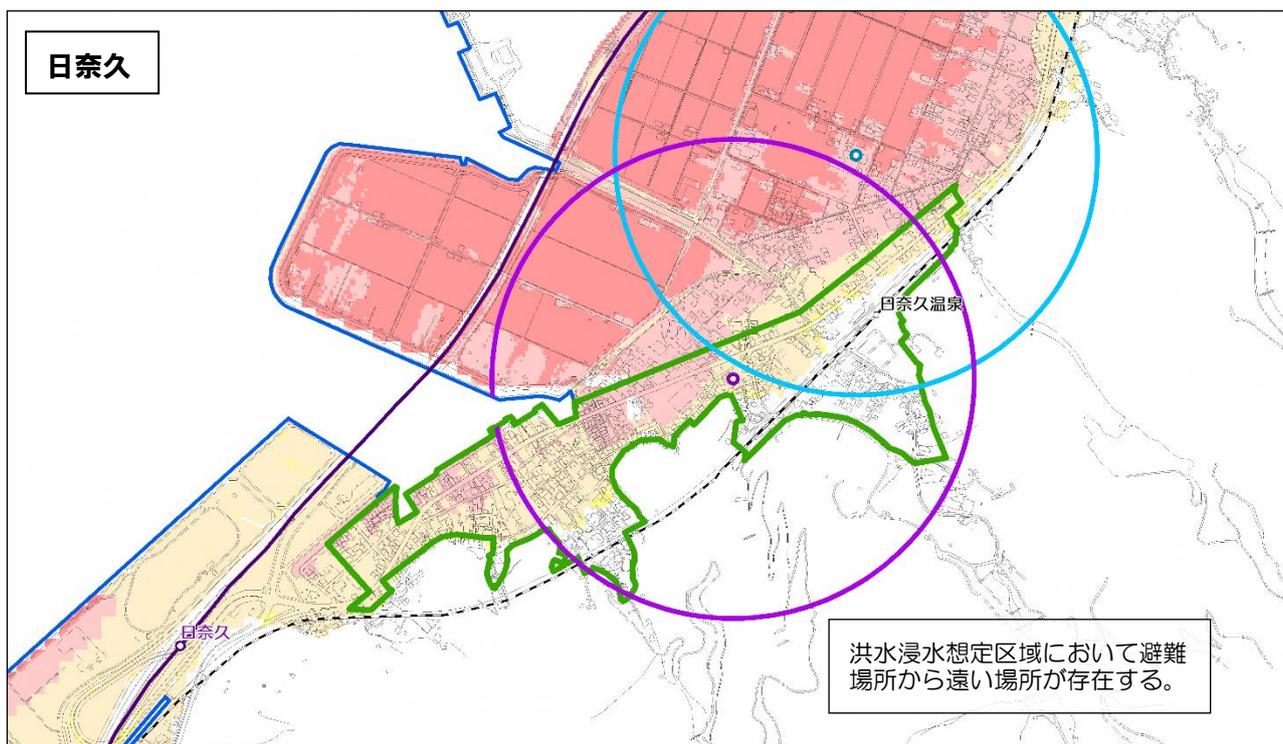
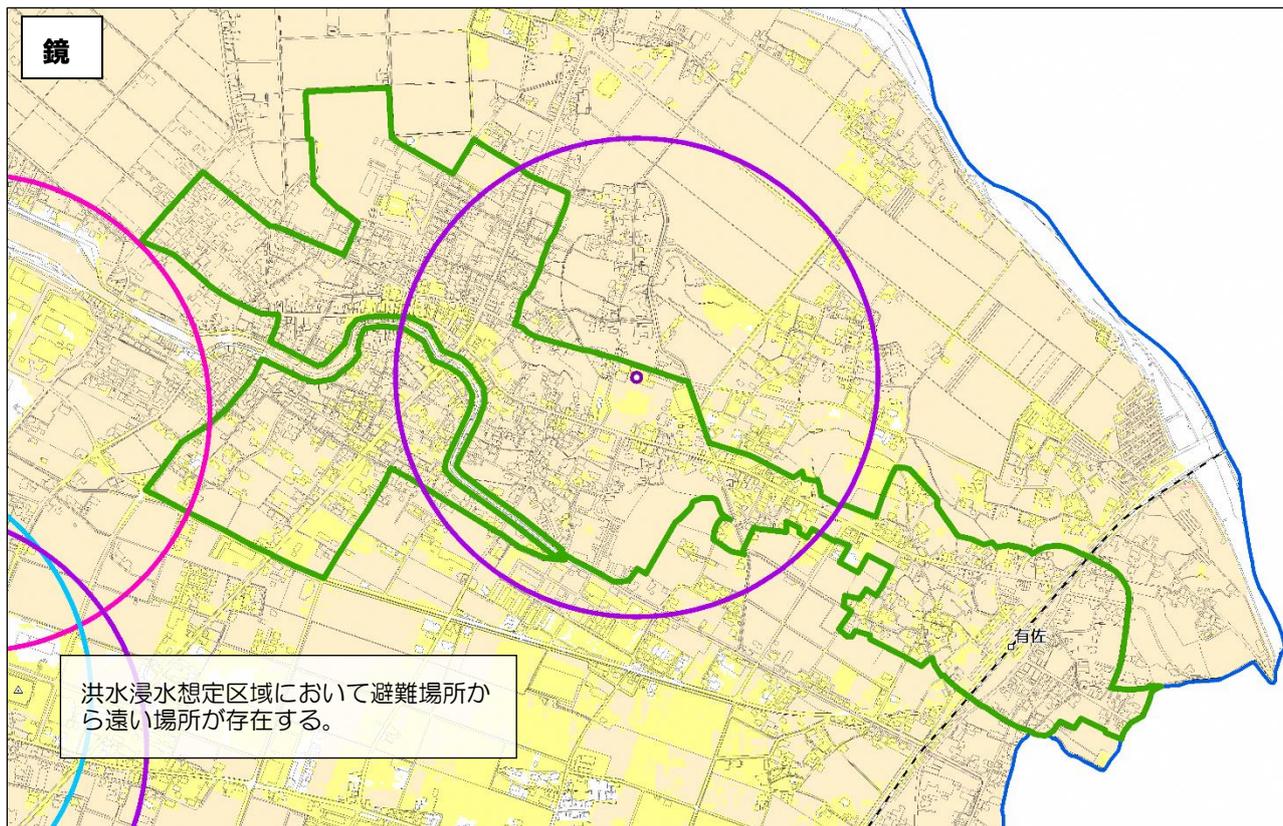
●洪水浸水想定区域が指定されている中、避難場所が高齢者徒歩圏(500m)から離れている場所が存在しています。

図：洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 避難場所



- |  |  |   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>□ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>● 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>■ 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水想定区域(想定最大規模)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.0~0.5m未満</li> <li>■ 0.5~3.0m未満</li> <li>■ 3.0~5.0m未満</li> <li>■ 5.0~10.0m未満</li> <li>■ 10.0~20.0m未満</li> <li>■ 20.0m以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定緊急避難場所(風水害)</li> <li>○ 指定一般避難所(風水害)</li> <li>○ 津波・水害避難ビル</li> <li>□ 指定緊急避難場所500m圏(風水害)</li> <li>□ 指定一般避難所500m圏(風水害)</li> <li>□ 津波・水害避難ビル500m圏</li> </ul> |
|--|--|---|

図：洪水浸水想定区域（想定最大規模）×避難場所

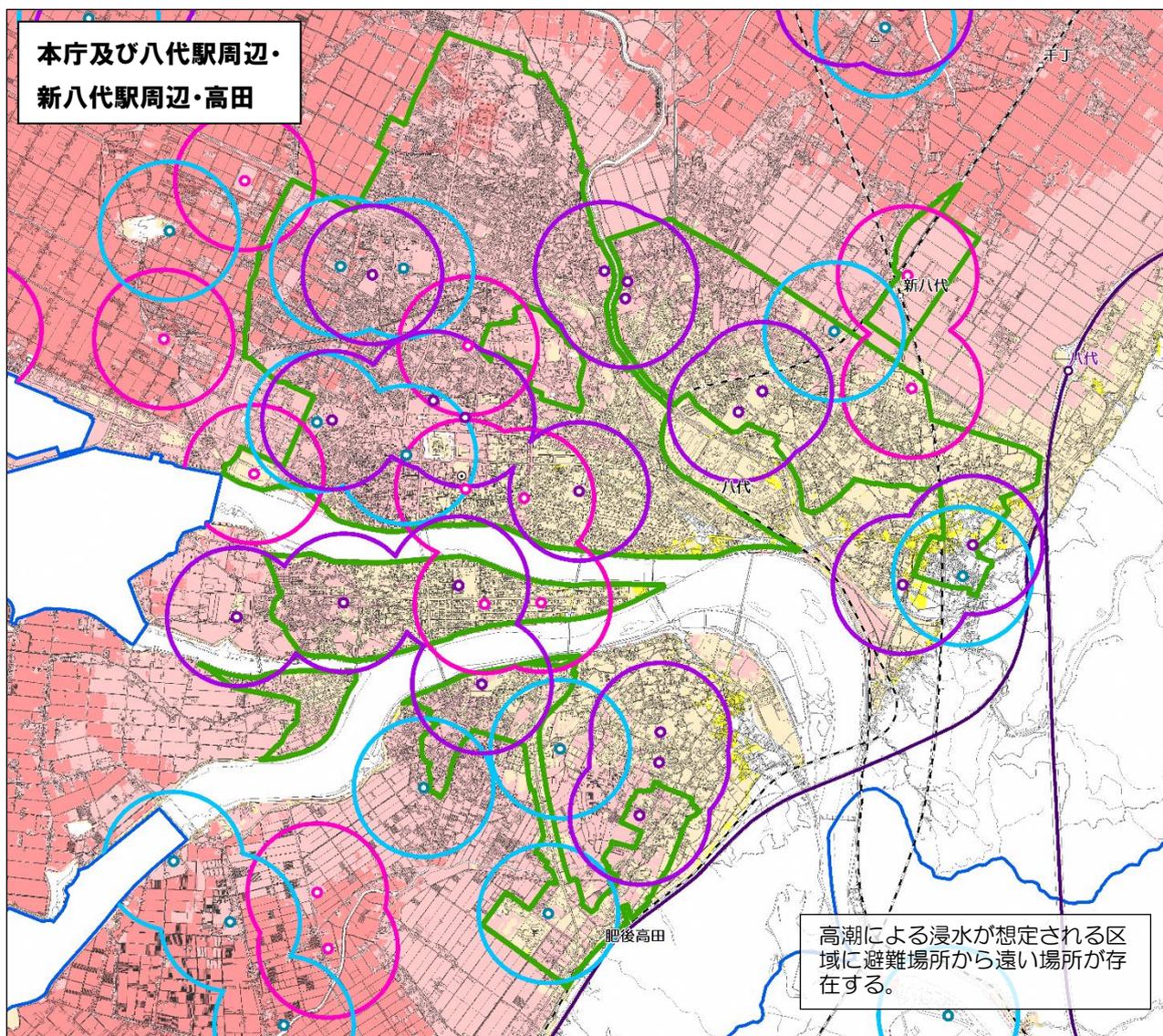


- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">■</span> 居住誘導区域</li> <li><span style="color: purple;">○</span> インターチェンジ</li> <li><span style="color: blue;">—</span> 高速道路</li> <li><span style="color: grey;">□</span> 鉄道駅</li> <li><span style="color: grey;">—</span> 鉄道路線</li> <li><span style="color: grey;">●</span> 市役所</li> <li><span style="color: grey;">△</span> 支所</li> <li><span style="color: blue;">■</span> 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水想定区域（想定最大規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: yellow;">■</span> 0.0～0.5m未満</li> <li><span style="color: orange;">■</span> 0.5～3.0m未満</li> <li><span style="color: red;">■</span> 3.0～5.0m未満</li> <li><span style="color: pink;">■</span> 5.0～10.0m未満</li> <li><span style="color: purple;">■</span> 10.0～20.0m未満</li> <li><span style="color: purple;">■</span> 20.0m以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: blue;">○</span> 指定緊急避難場所（風水害）</li> <li><span style="color: purple;">○</span> 指定一般避難所（風水害）</li> <li><span style="color: pink;">○</span> 津波・水害避難ビル</li> <li><span style="color: blue;">○</span> 指定緊急避難場所500m圏（風水害）</li> <li><span style="color: purple;">○</span> 指定一般避難所500m圏（風水害）</li> <li><span style="color: pink;">○</span> 津波・水害避難ビル500m圏</li> </ul> |
|---|---|---|

## 高潮浸水想定 × 避難場所

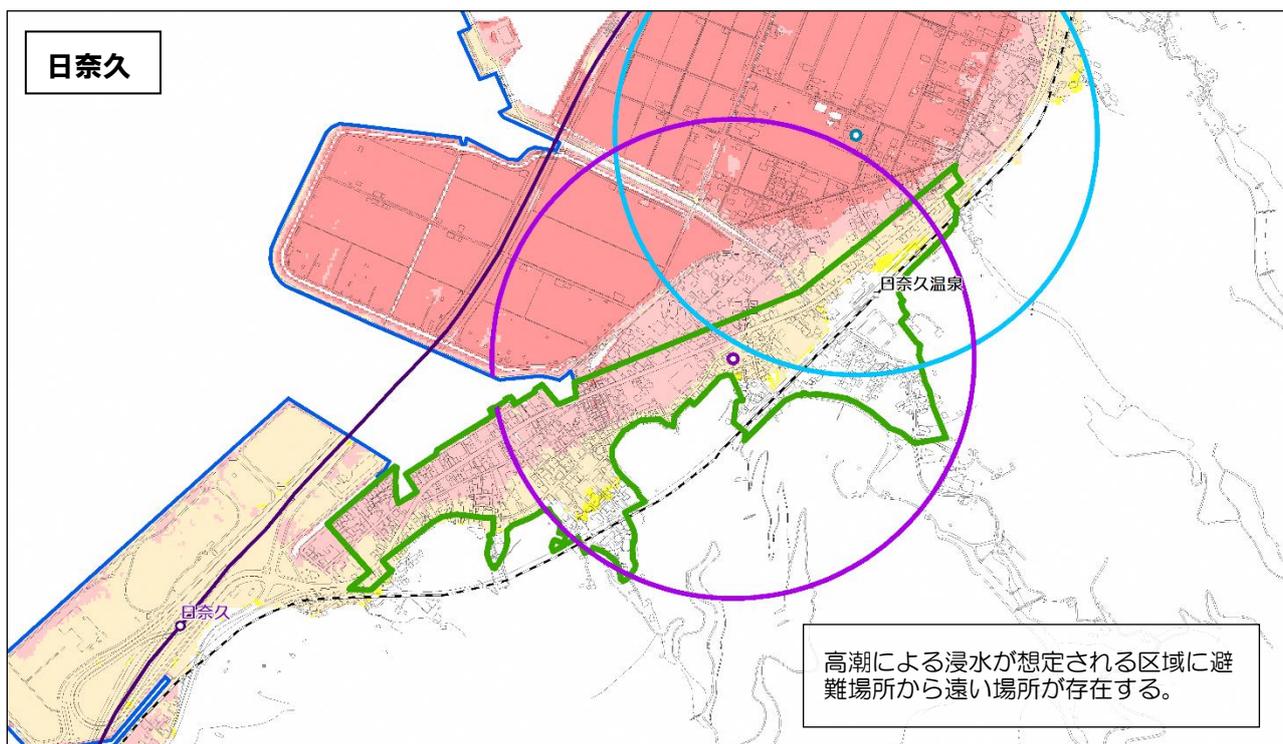
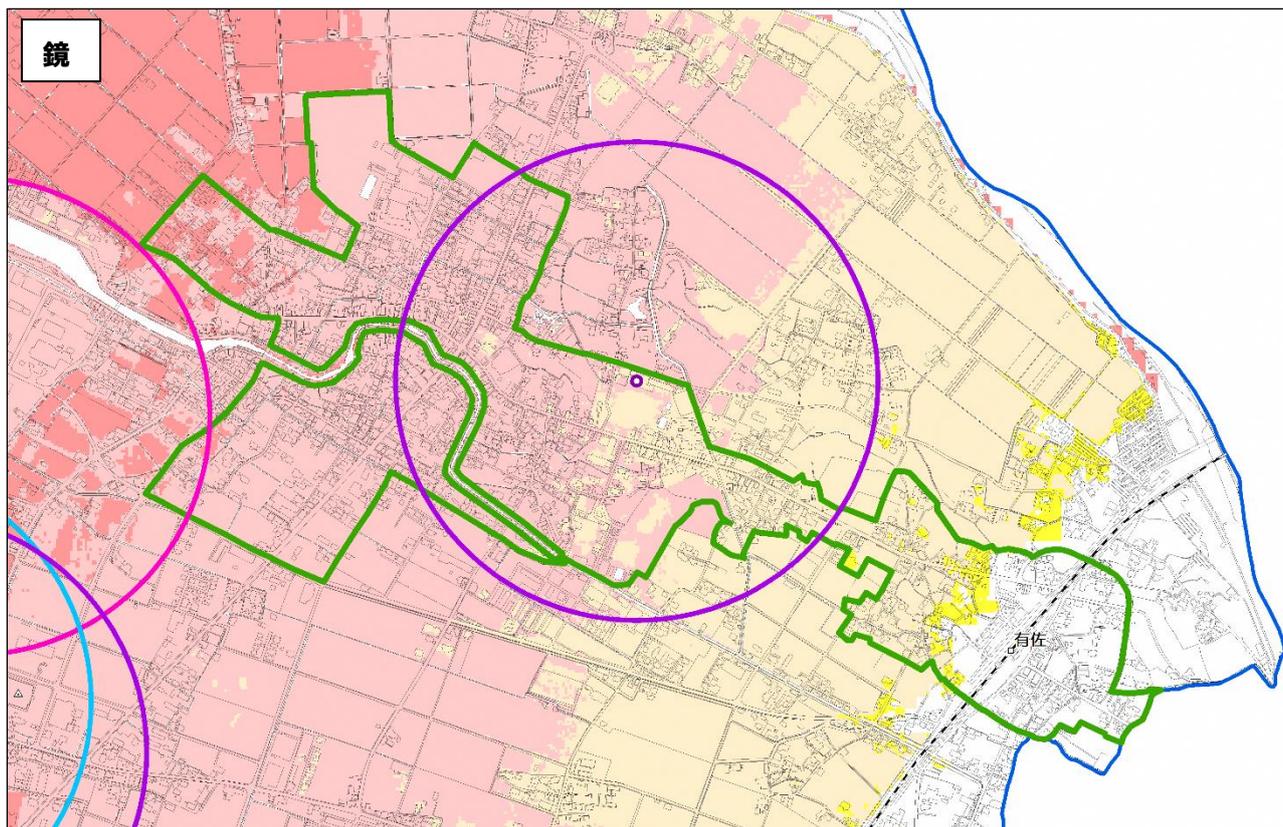
- 高潮による浸水が想定される中、避難場所が高齢者徒歩圏（500m）から離れている場所が存在しています。

図：高潮浸水想定 × 避難場所



- |  |  |   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>⊃ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>◎ 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>■ 都市計画区域</li> </ul> | <p>高潮浸水想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.5m未満</li> <li>■ 0.5～3.0m未満</li> <li>■ 3.0～5.0m未満</li> <li>■ 5.0～10.0m未満</li> <li>■ 10.0～20.0m未満</li> <li>■ 20.0m以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定緊急避難場所（風水害）</li> <li>○ 指定一般避難所（風水害）</li> <li>● 津波・水害避難ビル</li> <li>○ 指定緊急避難場所500m圏（風水害）</li> <li>○ 指定一般避難所500m圏（風水害）</li> <li>■ 津波・水害避難ビル500m圏</li> </ul> |
|--|--|---|

図：高潮浸水想定×避難場所

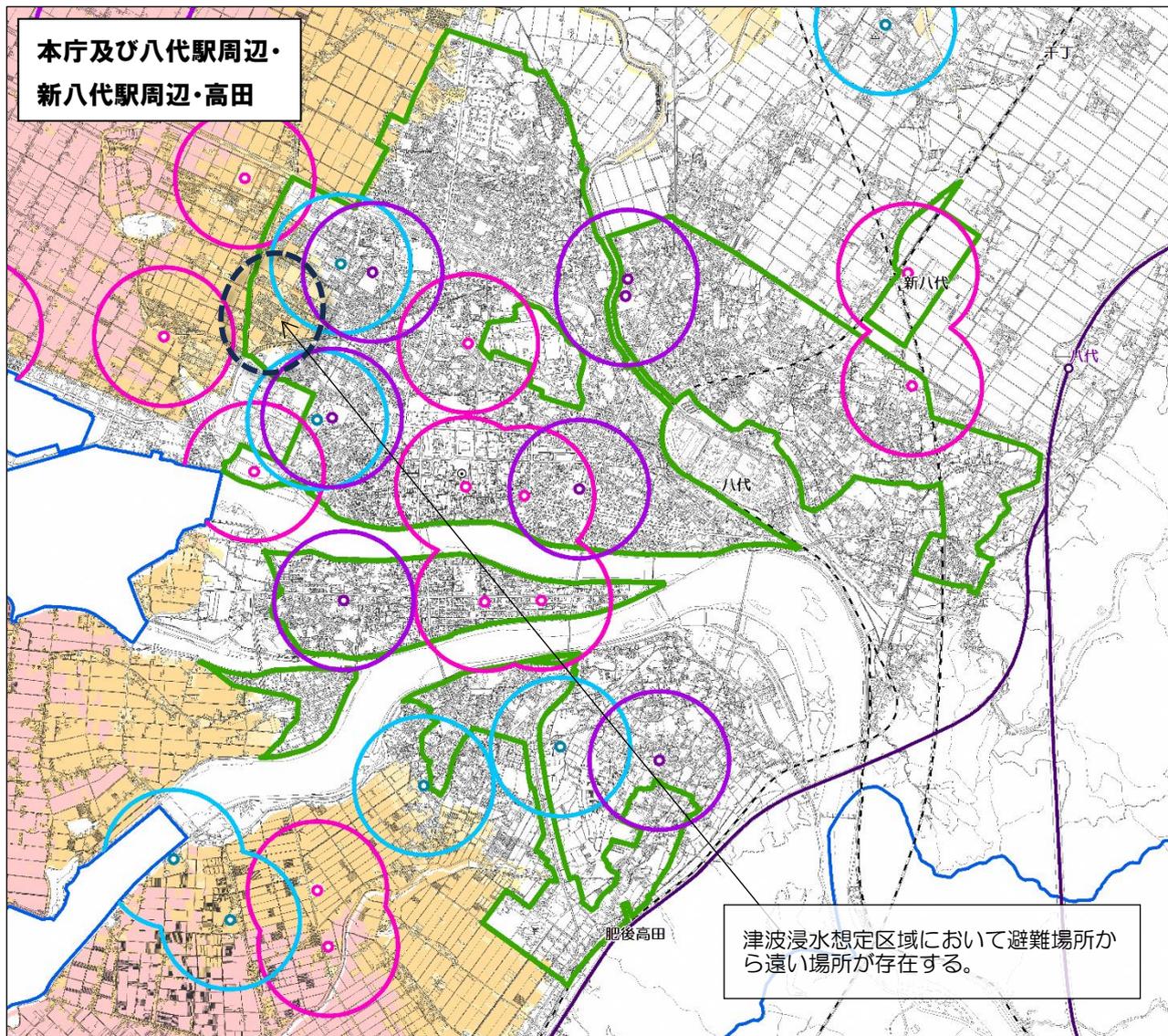


- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">■</span> 居住誘導区域</li> <li><span style="color: purple;">○</span> インターチェンジ</li> <li><span style="color: blue;">—</span> 高速道路</li> <li><span style="color: blue;"> </span> 鉄道駅</li> <li><span style="color: blue;">—</span> 鉄道路線</li> <li><span style="color: purple;">○</span> 市役所</li> <li><span style="color: purple;">△</span> 支所</li> <li><span style="color: blue;">□</span> 都市計画区域</li> </ul> | <p>高潮浸水想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: yellow;">■</span> 0.5m未満</li> <li><span style="color: orange;">■</span> 0.5~3.0m未満</li> <li><span style="color: red;">■</span> 3.0~5.0m未満</li> <li><span style="color: darkred;">■</span> 5.0~10.0m未満</li> <li><span style="color: magenta;">■</span> 10.0~20.0m未満</li> <li><span style="color: purple;">■</span> 20.0m以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: blue;">○</span> 指定緊急避難場所（風水害）</li> <li><span style="color: purple;">○</span> 指定一般避難所（風水害）</li> <li><span style="color: pink;">○</span> 津波・水害避難ビル</li> <li><span style="color: blue;">□</span> 指定緊急避難場所500m圏（風水害）</li> <li><span style="color: purple;">□</span> 指定一般避難所500m圏（風水害）</li> <li><span style="color: pink;">□</span> 津波・水害避難ビル500m圏</li> </ul> |
|---|---|---|

## 津波浸水想定区域 × 避難場所

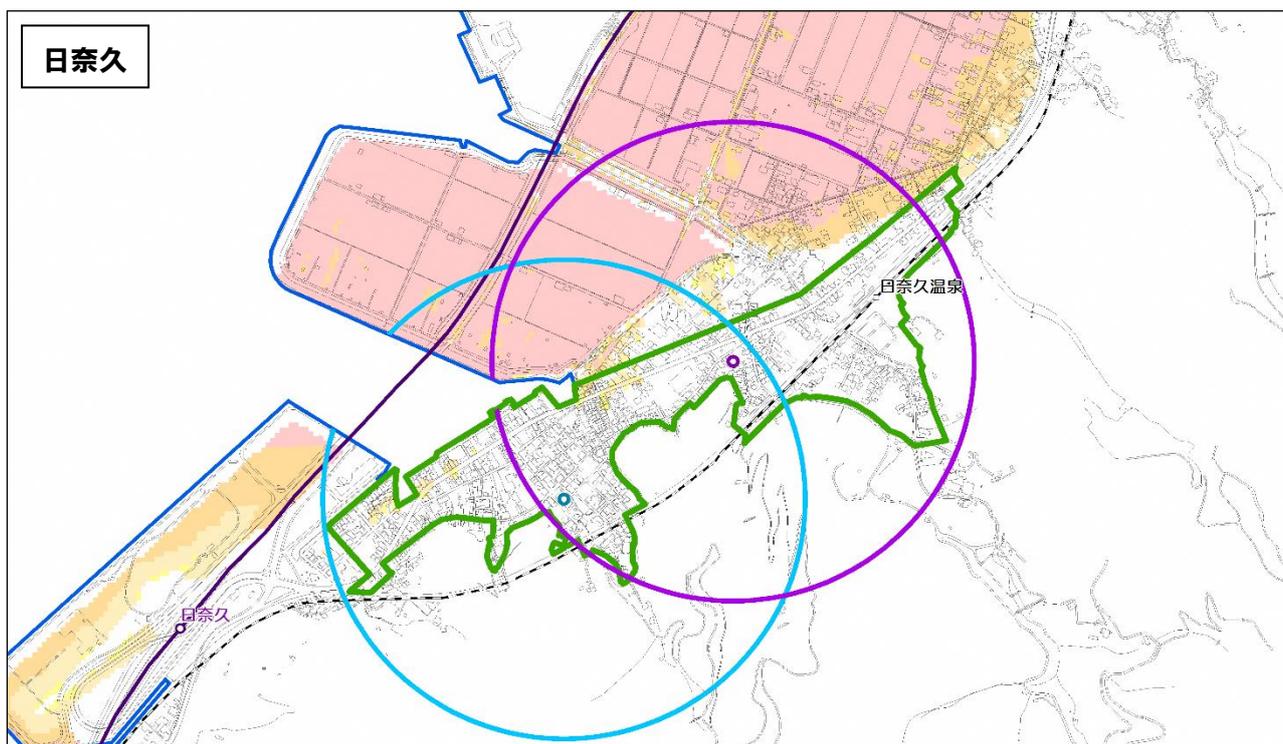
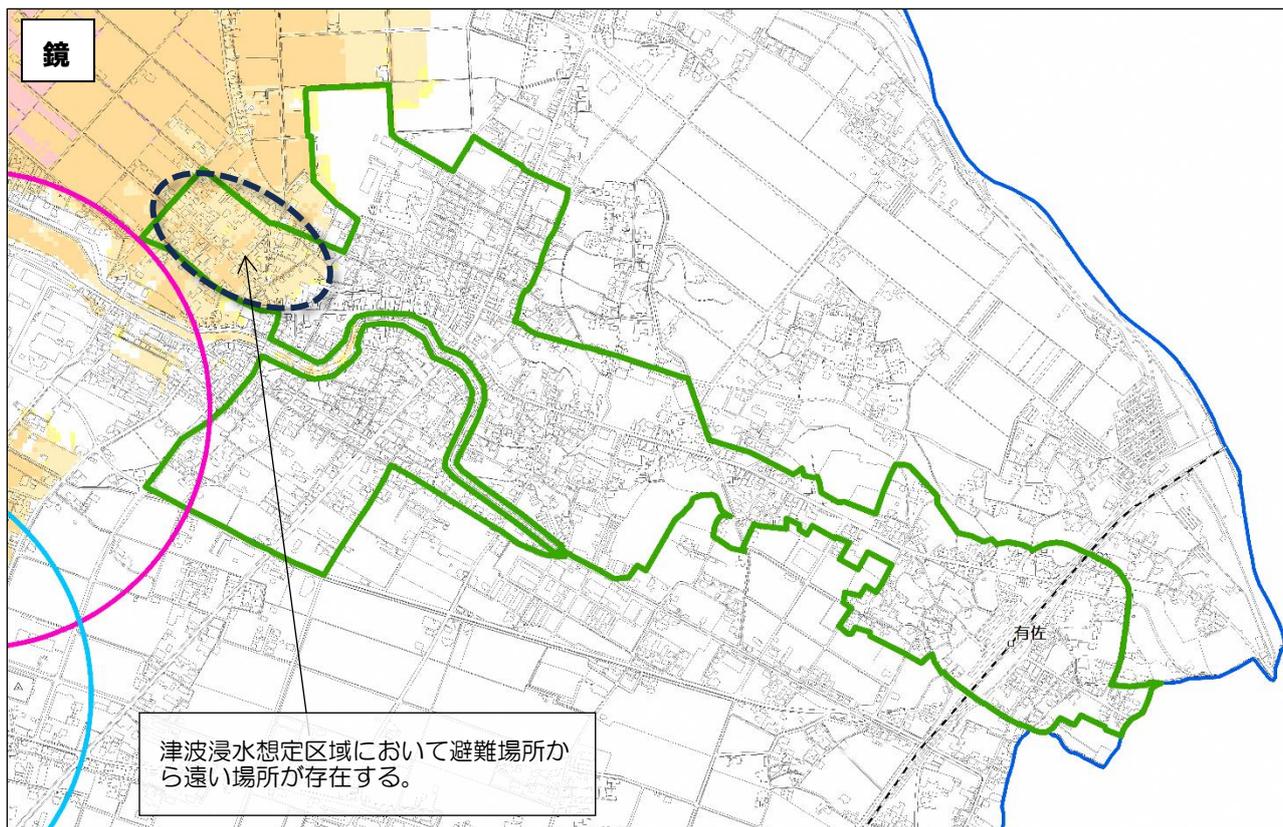
●津波浸水想定区域が設定されている中、避難場所が高齢者徒歩圏（500m）から離れている場所が一部存在しています。

図：津波浸水想定区域×避難場所



- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>⊕ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>◎ 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>■ 都市計画区域</li> </ul> | <p>津波浸水想定区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.3m未満</li> <li>■ 0.3m以上 ~ 1m未満</li> <li>■ 1m以上 ~ 2m未満</li> <li>■ 2m以上 ~ 5m未満</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定緊急避難場所（津波）</li> <li>○ 指定一般避難所（津波）</li> <li>● 津波・水害避難ビル</li> <li>○ 指定緊急避難場所500m圏（津波）</li> <li>○ 指定一般避難所500m圏（津波）</li> <li>○ 津波・水害避難ビル500m圏</li> </ul> |
|--|---|---|

図：津波浸水想定区域×避難場所



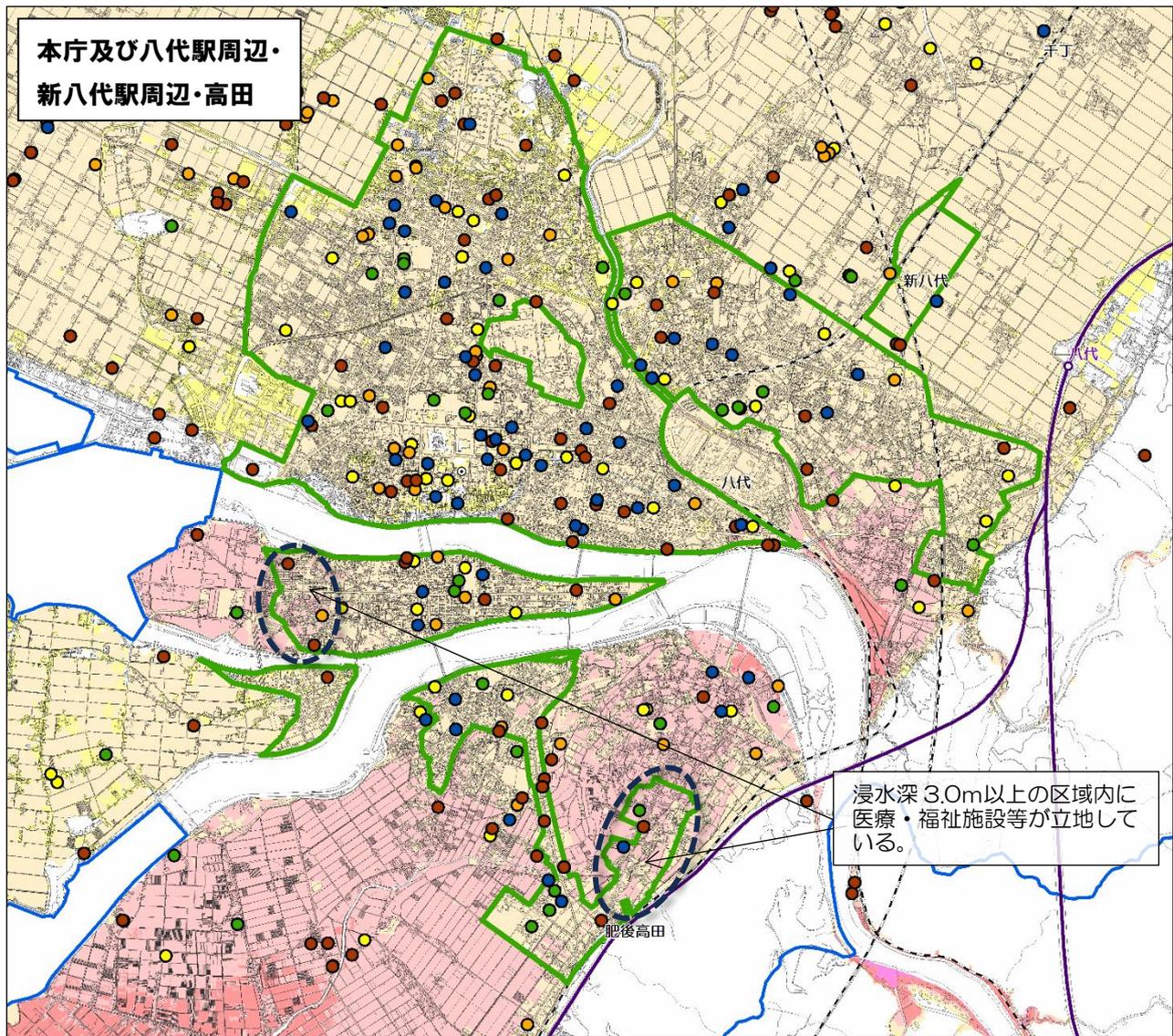
- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>□ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>● 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>■ 都市計画区域</li> </ul> | <p>津波浸水想定区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.3m未満</li> <li>■ 0.3m以上 ~ 1m未満</li> <li>■ 1m以上 ~ 2m未満</li> <li>■ 2m以上 ~ 5m未満</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定緊急避難場所（津波）</li> <li>● 指定一般避難所（津波）</li> <li>● 津波・水害避難ビル</li> <li>○ 指定緊急避難場所500m圏（津波）</li> <li>○ 指定一般避難所500m圏（津波）</li> <li>○ 津波・水害避難ビル500m圏</li> </ul> |
|--|---|---|

③都市機能（医療・福祉施設等）の継続の可能性

**洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 都市機能(医療・福祉施設等)**

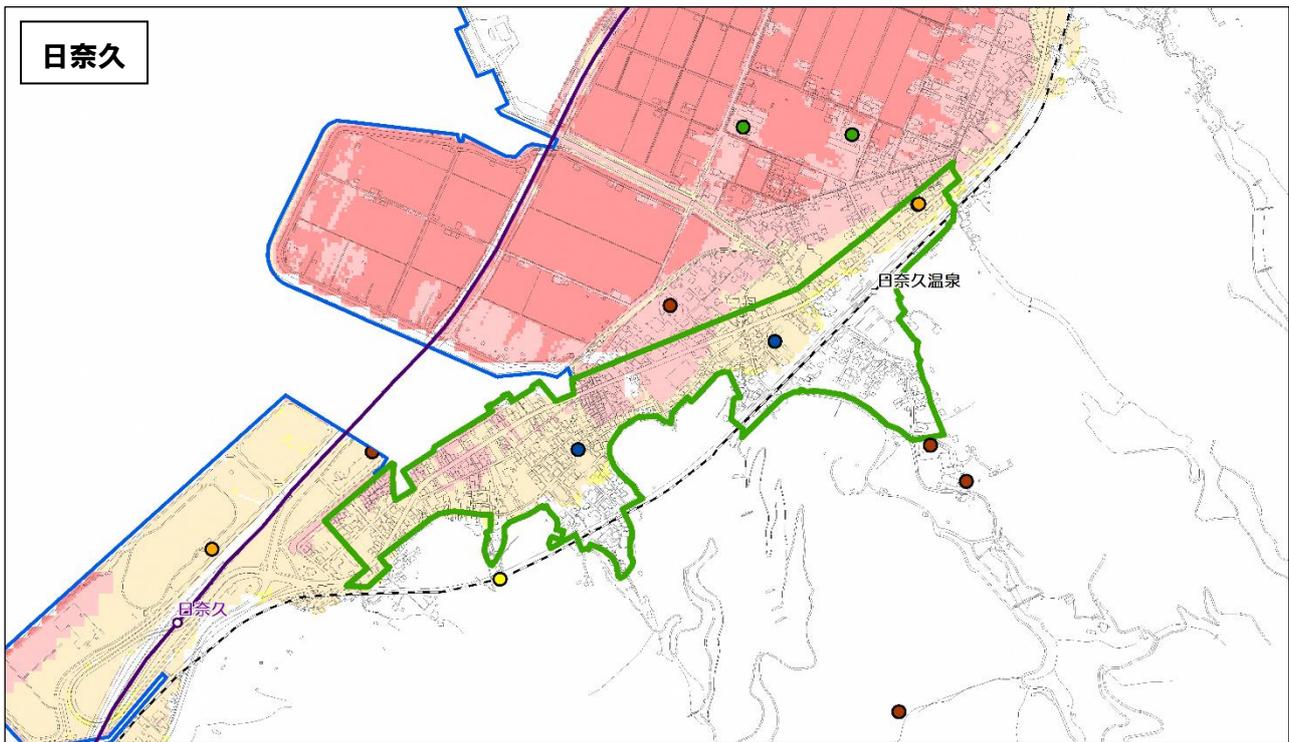
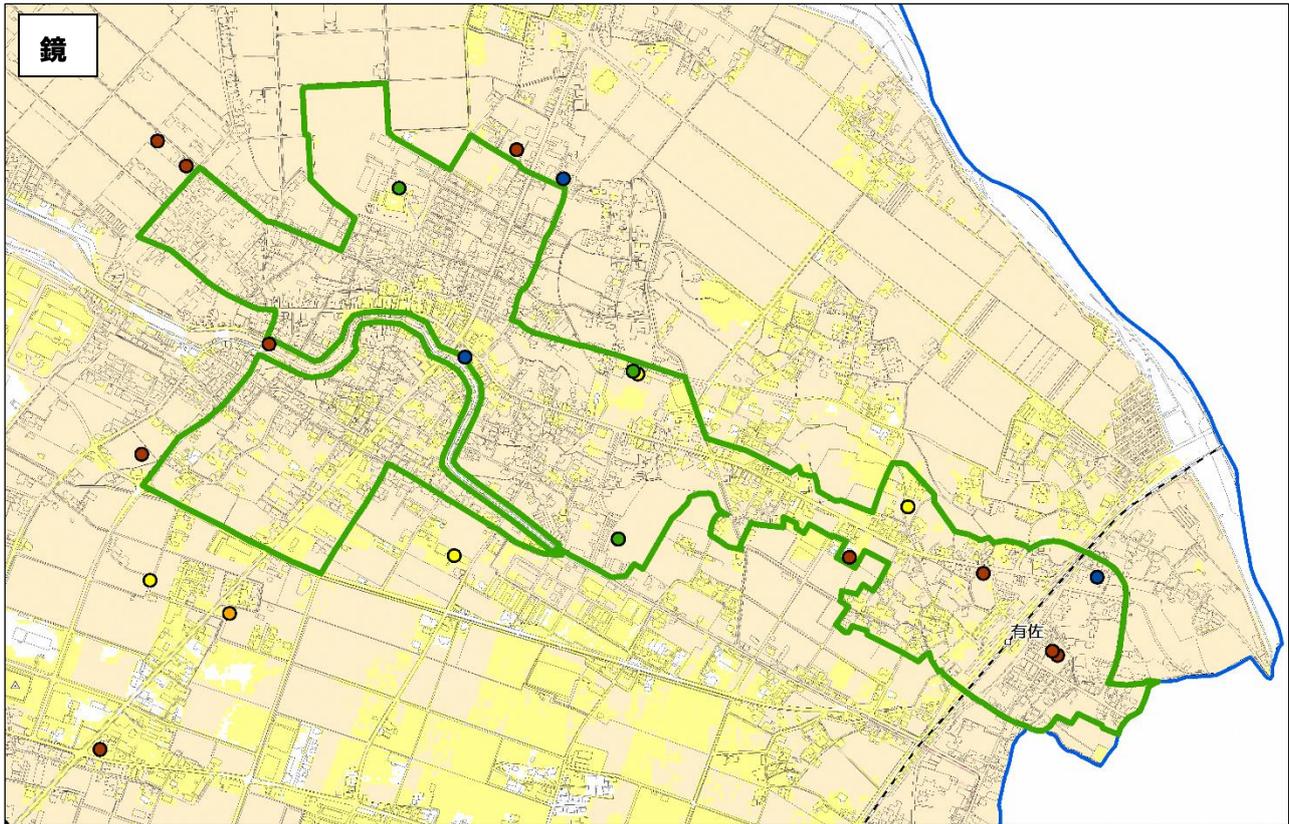
●肥後高田駅北側及び古城町付近の浸水深 3m以上の浸水想定区域内には、学校や医療施設・福祉施設等が立地しています。

図：洪水浸水想定区域（想定最大）×都市機能（医療・福祉施設等）



- |  |  |  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>⊥ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>◎ 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>□ 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水想定区域（想定最大規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.0～0.5m未満</li> <li>■ 0.5～3.0m未満</li> <li>■ 3.0～5.0m未満</li> <li>■ 5.0～10.0m未満</li> <li>■ 10.0～20.0m未満</li> <li>■ 20.0m以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中高校・短大・専門学校</li> <li>● 医療施設（内科・外科・小児科を含む）</li> <li>● 高齢者福祉施設</li> <li>● 障がい者福祉施設</li> <li>● 子育て支援施設</li> </ul> |
|--|--|--|

図：洪水浸水想定区域（想定最大）×都市機能（医療・福祉施設等）

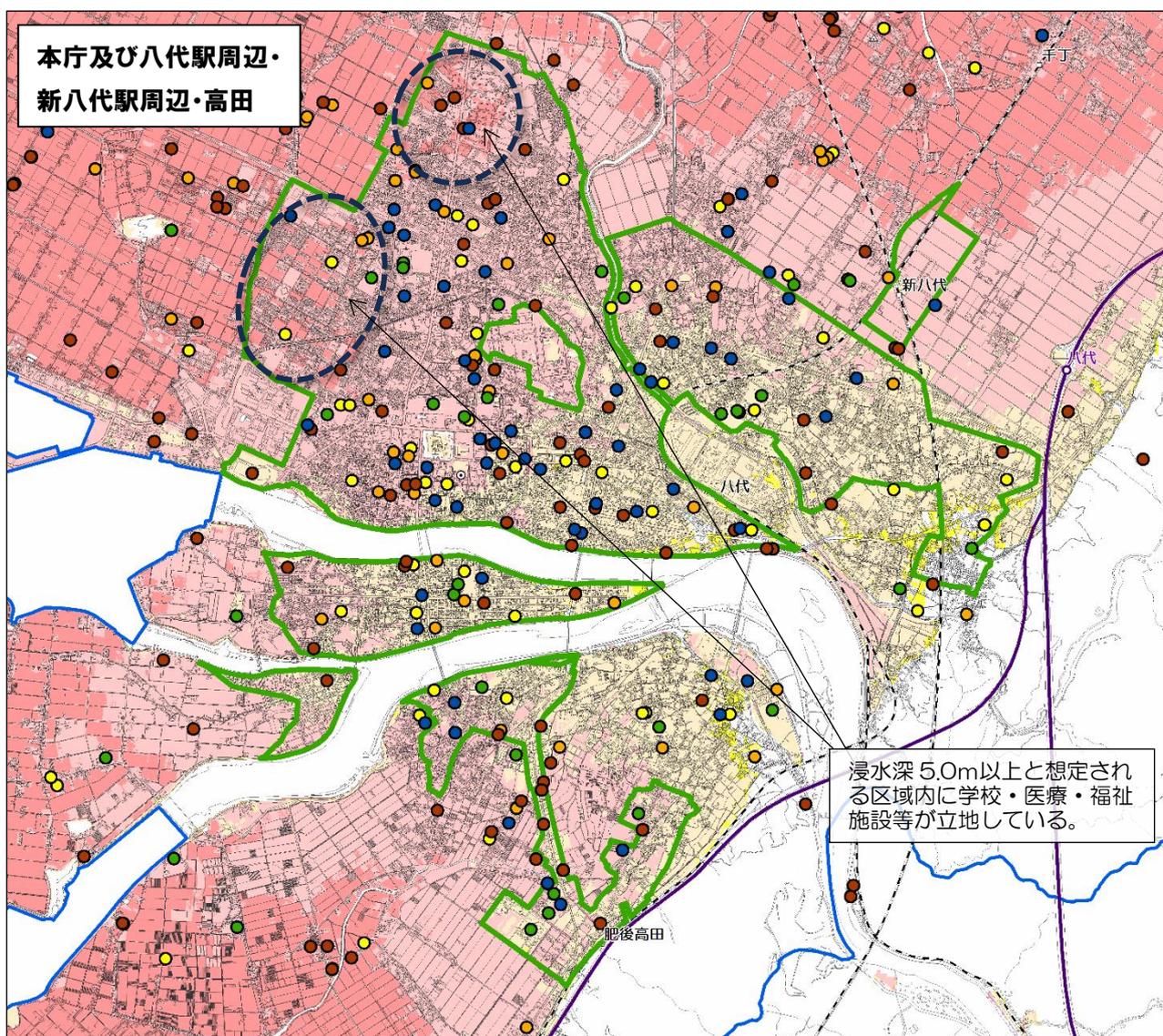


- |  |   |  |
|--|---|--|
| <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;"> </span> 居住誘導区域   | 洪水浸水想定区域（想定最大規模）  | <span style="color: green;">●</span> 小中高校・短大・専門学校      |
| <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;"> </span> インターチェンジ  | <span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 0.0～0.5m未満    | <span style="color: blue;">●</span> 医療施設（内科・外科・小児科を含む） |
| <span style="border-bottom: 1px solid purple; width: 20px; display: inline-block;"></span> 高速道路                          | <span style="background-color: orange; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 0.5～3.0m未満    | <span style="color: brown;">●</span> 高齢者福祉施設           |
| <span style="border-bottom: 1px solid black; width: 20px; display: inline-block;"></span> 鉄道駅                            | <span style="background-color: #FFD700; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 3.0～5.0m未満   | <span style="color: orange;">●</span> 障がい者福祉施設         |
| <span style="border-bottom: 1px dashed black; width: 20px; display: inline-block;"></span> 鉄道路線                          | <span style="background-color: #FF69B4; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 5.0～10.0m未満  | <span style="color: yellow;">●</span> 子育て支援施設          |
| <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span> 市役所 | <span style="background-color: #FF69B4; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 10.0～20.0m未満 |  |
| <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span> 支所  | <span style="background-color: #800080; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 20.0m以上      |  |
| <span style="border: 1px solid blue; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></span> 都市計画区域                   |   |  |

### 高潮浸水想定 × 都市機能(医療・福祉施設等)

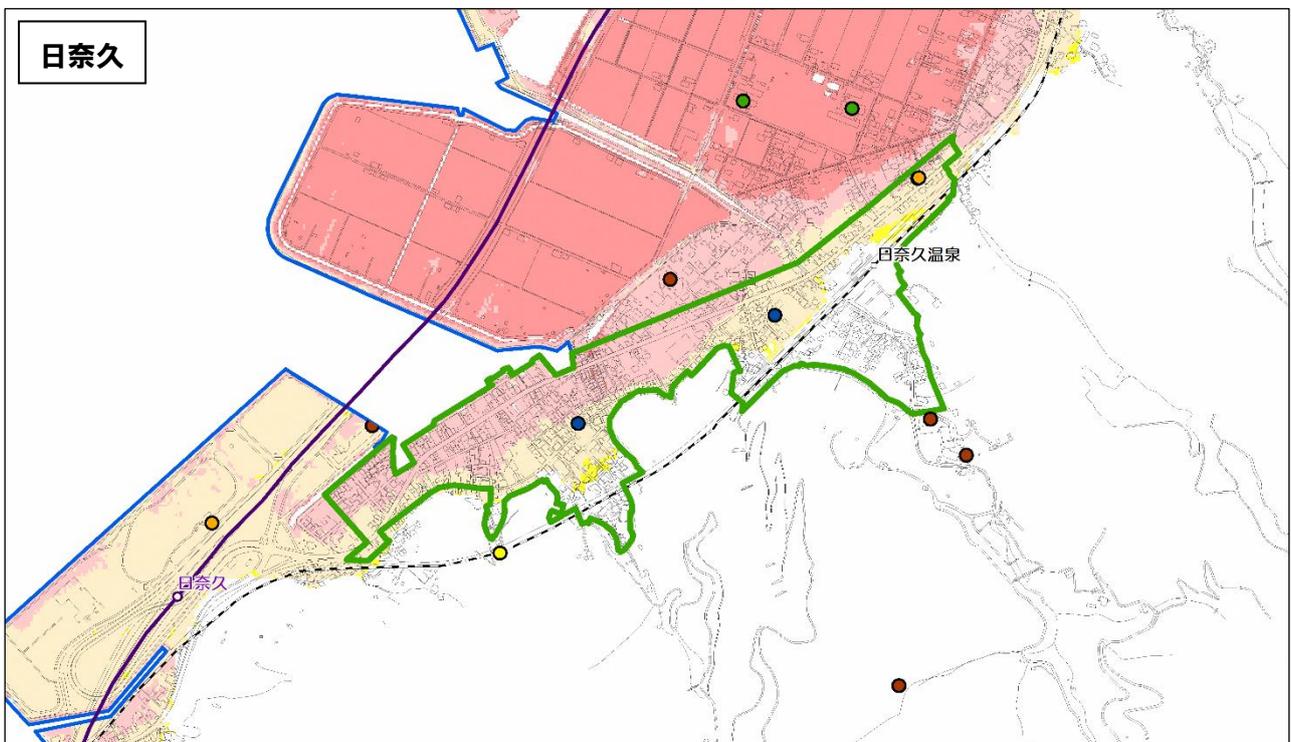
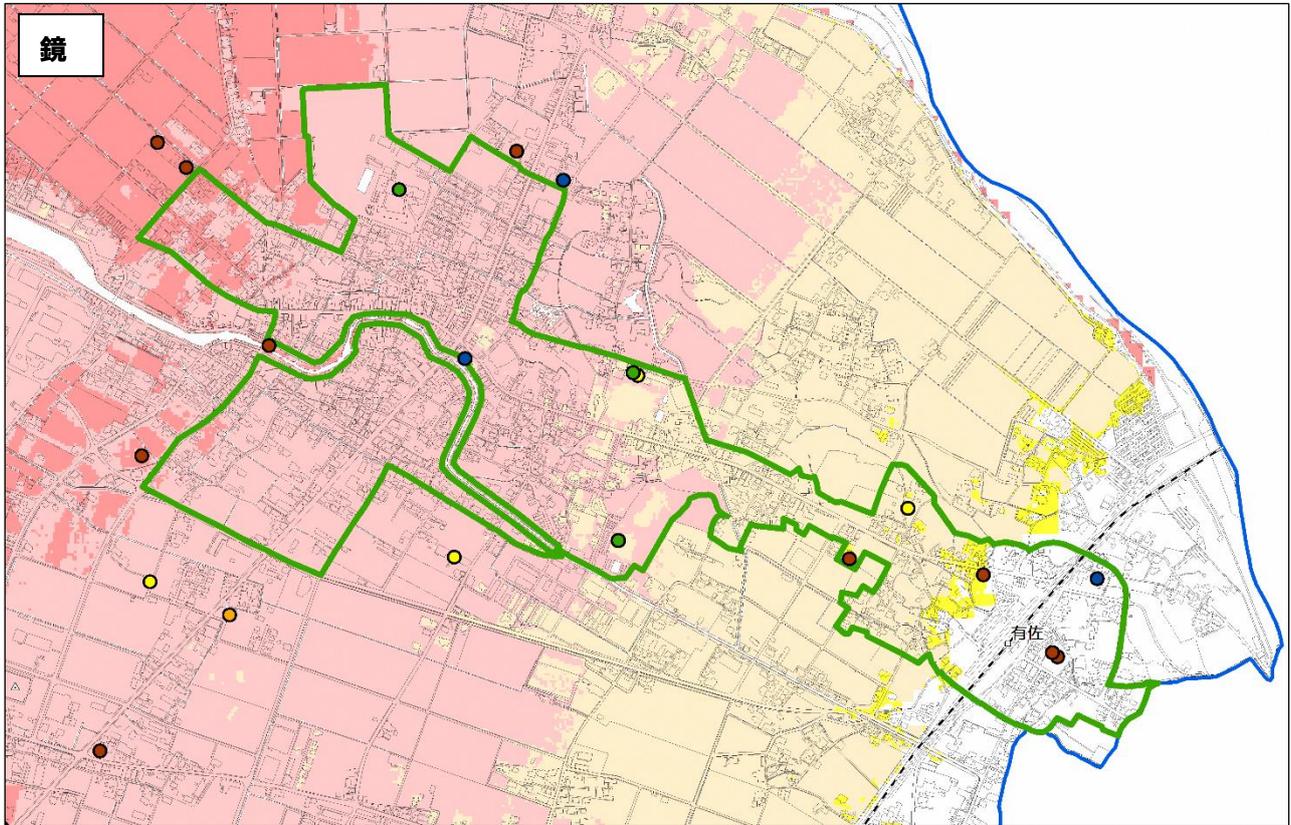
- 海に近いエリアにおいては、高潮による浸水深3~5m未満と想定される中、学校や医療施設・福祉施設等も多数立地しています。
- 古閑中町、松崎町付近においては、高潮による浸水深が5~10mと想定される中、学校や医療施設・福祉施設等が立地しています。

図：高潮浸水想定 × 都市機能（医療・福祉施設等）



- |  |  |  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>⊥ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>● 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>□ 都市計画区域</li> </ul> | <p>高潮浸水想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.5m未満</li> <li>■ 0.5~3.0m未満</li> <li>■ 3.0~5.0m未満</li> <li>■ 5.0~10.0m未満</li> <li>■ 10.0~20.0m未満</li> <li>■ 20.0m以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中高校・短大・専門学校</li> <li>● 医療施設（内科・外科・小児科を含む）</li> <li>● 高齢者福祉施設</li> <li>● 障がい者福祉施設</li> <li>● 子育て支援施設</li> </ul> |
|--|--|--|

図：高潮浸水想定区域×都市機能（医療・福祉施設等）

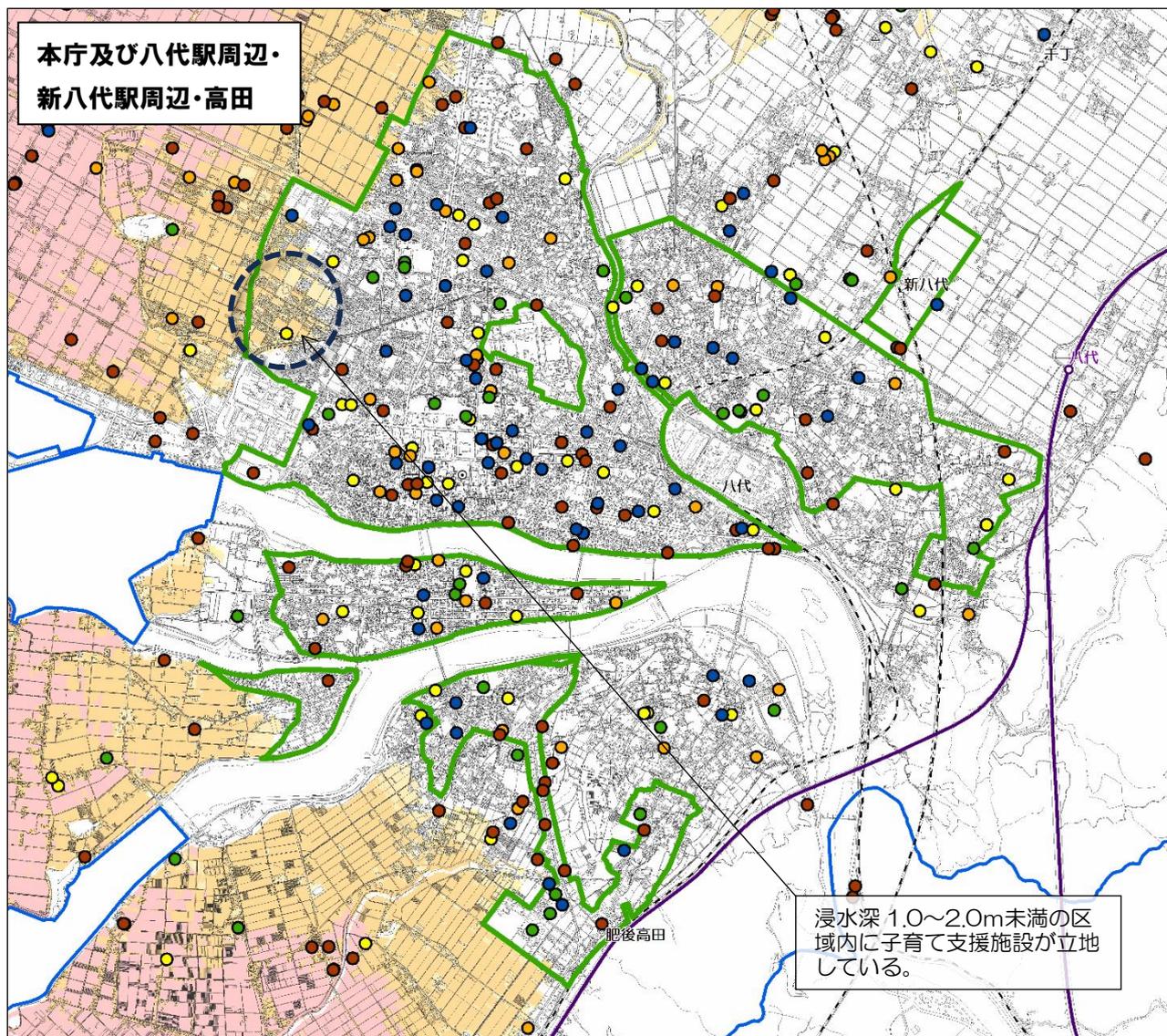


- |  |  |  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>⊃ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>◎ 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>□ 都市計画区域</li> </ul> | <p>高潮浸水想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.5m未満</li> <li>■ 0.5～3.0m未満</li> <li>■ 3.0～5.0m未満</li> <li>■ 5.0～10.0m未満</li> <li>■ 10.0～20.0m未満</li> <li>■ 20.0m以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中高校・短大・専門学校</li> <li>● 医療施設（内科・外科・小児科を含む）</li> <li>● 高齢者福祉施設</li> <li>● 障がい者福祉施設</li> <li>● 子育て支援施設</li> </ul> |
|--|--|--|

**津波浸水想定区域 × 都市機能(医療・福祉施設等)**

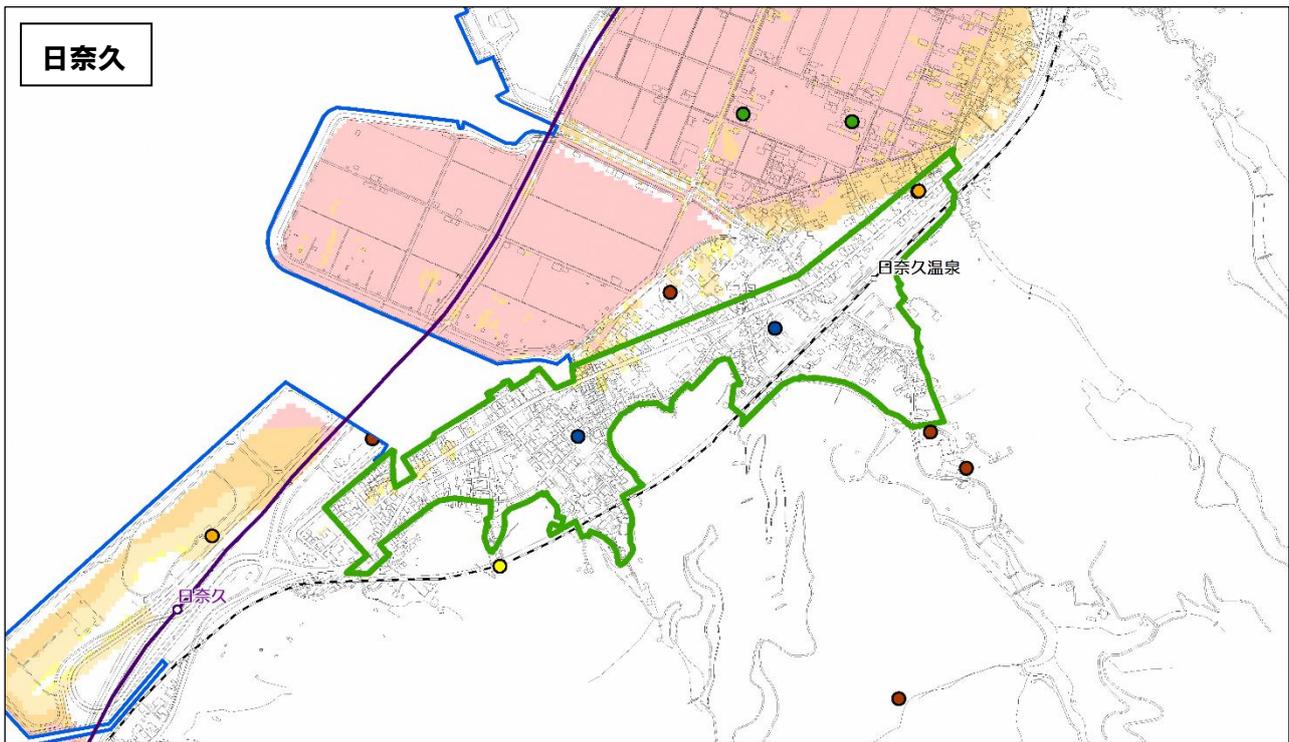
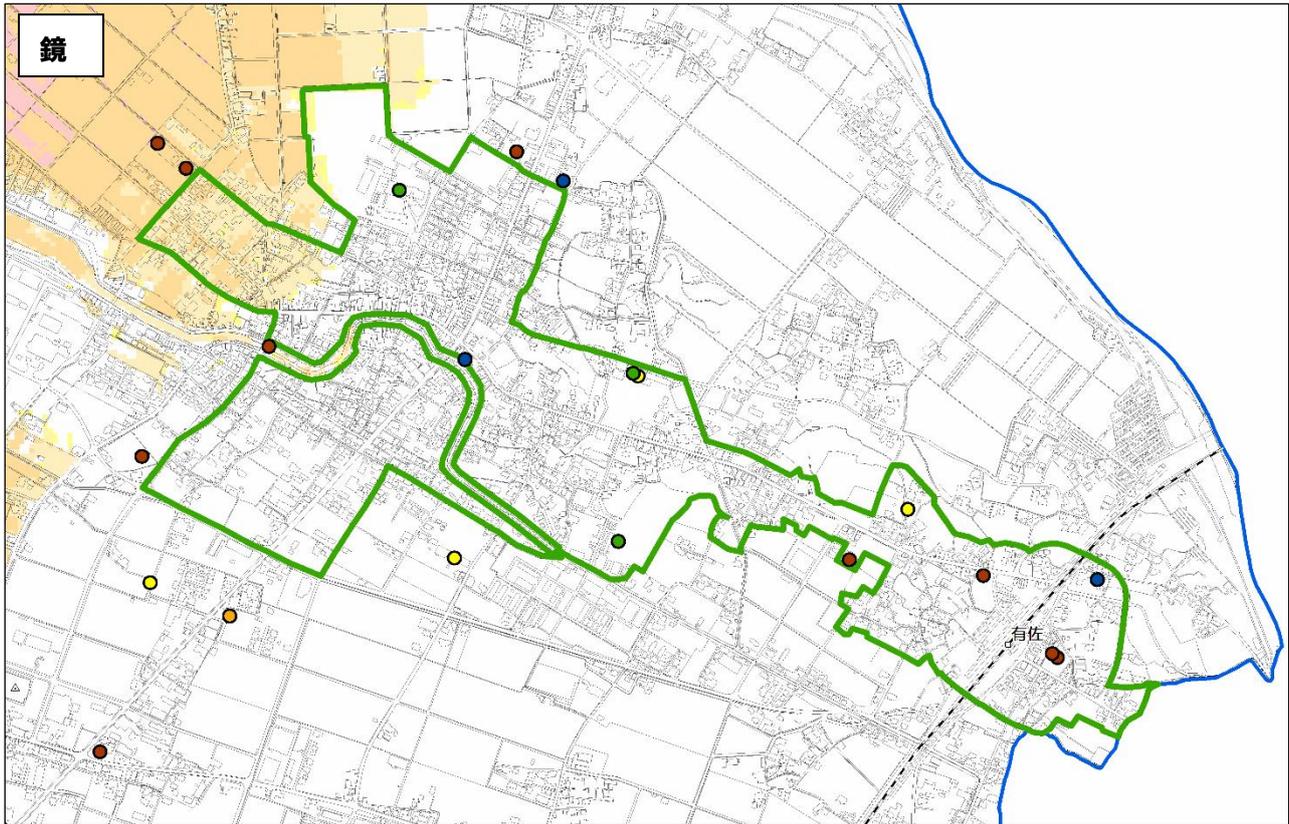
●松崎町、鏡町鏡、日奈久浜町の一部に津波浸水想定区域が設定されており、松崎町の浸水深最大1～2m未満の区域内に子育て支援施設が1件立地しています。

図：津波浸水想定区域×都市機能（医療・福祉施設等）



- |  |   |  |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>□ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>◎ 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>■ 都市計画区域</li> </ul> | <p>津波浸水想定区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0.3m未満</li> <li>■ 0.3m以上～1m未満</li> <li>■ 1m以上～2m未満</li> <li>■ 2m以上～5m未満</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中高校・短大・専門学校</li> <li>● 医療施設（内科・外科・小児科を含む）</li> <li>● 高齢者福祉施設</li> <li>● 障がい者福祉施設</li> <li>● 子育て支援施設</li> </ul> |
|--|---|--|

図：津波浸水想定区域×都市機能（医療・福祉施設等）



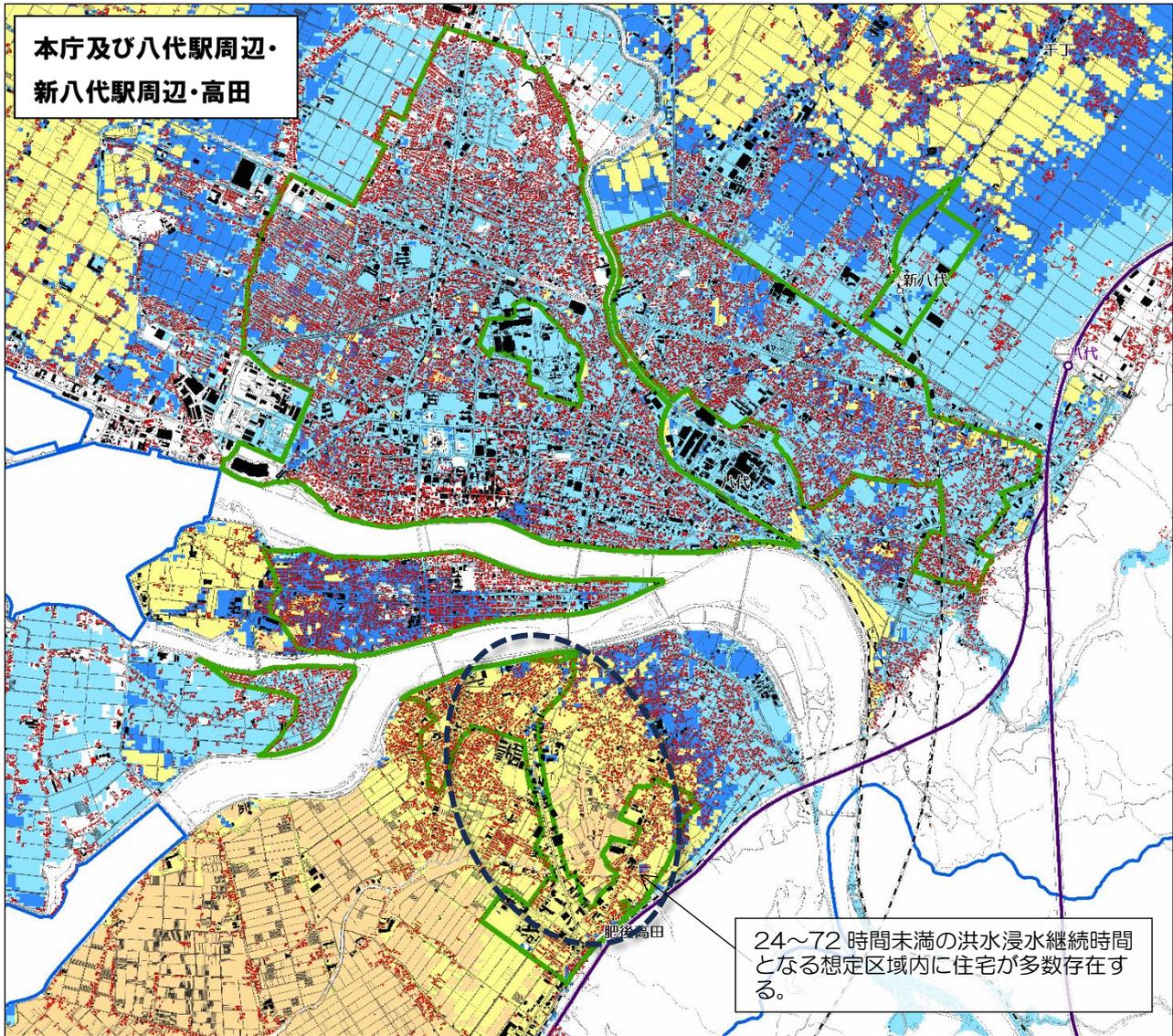
- |   |  |  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">■</span> 居住誘導区域</li> <li><span style="color: purple;">○</span> インターチェンジ</li> <li><span style="color: purple;">—</span> 高速道路</li> <li><span style="color: grey;">□</span> 鉄道駅</li> <li><span style="color: grey;">—</span> 鉄道路線</li> <li><span style="color: grey;">●</span> 市役所</li> <li><span style="color: grey;">△</span> 支所</li> <li><span style="color: blue;">□</span> 都市計画区域</li> </ul> | <p>津波浸水想定区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: yellow;">■</span> 0.3m未満</li> <li><span style="color: orange;">■</span> 0.3m以上 ~ 1m未満</li> <li><span style="color: red;">■</span> 1m以上 ~ 2m未満</li> <li><span style="color: pink;">■</span> 2m以上 ~ 5m未満</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">●</span> 小中高校・短大・専門学校</li> <li><span style="color: blue;">●</span> 医療施設（内科・外科・小児科を含む）</li> <li><span style="color: red;">●</span> 高齢者福祉施設</li> <li><span style="color: orange;">●</span> 障がい者福祉施設</li> <li><span style="color: yellow;">●</span> 子育て支援施設</li> </ul> |
|---|--|--|

④長期にわたる孤立の可能性

**洪水浸水継続時間(想定最大規模) × 住宅**

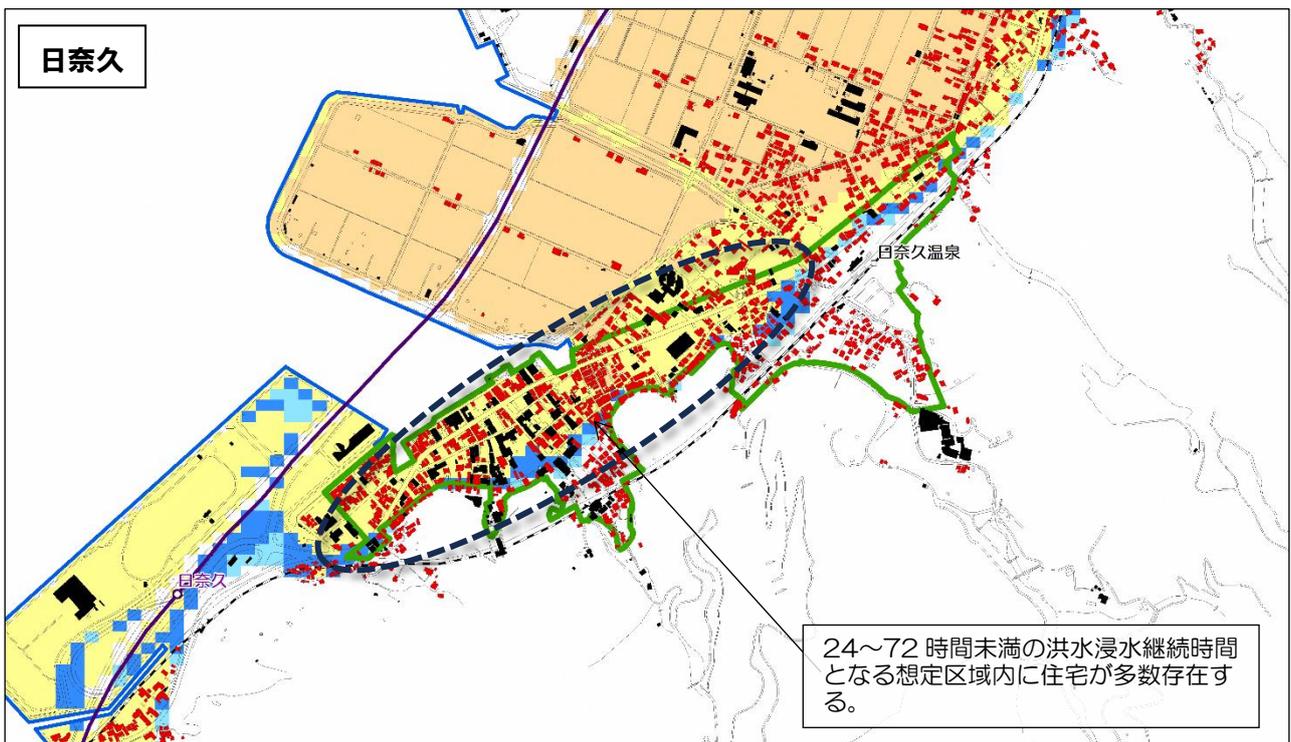
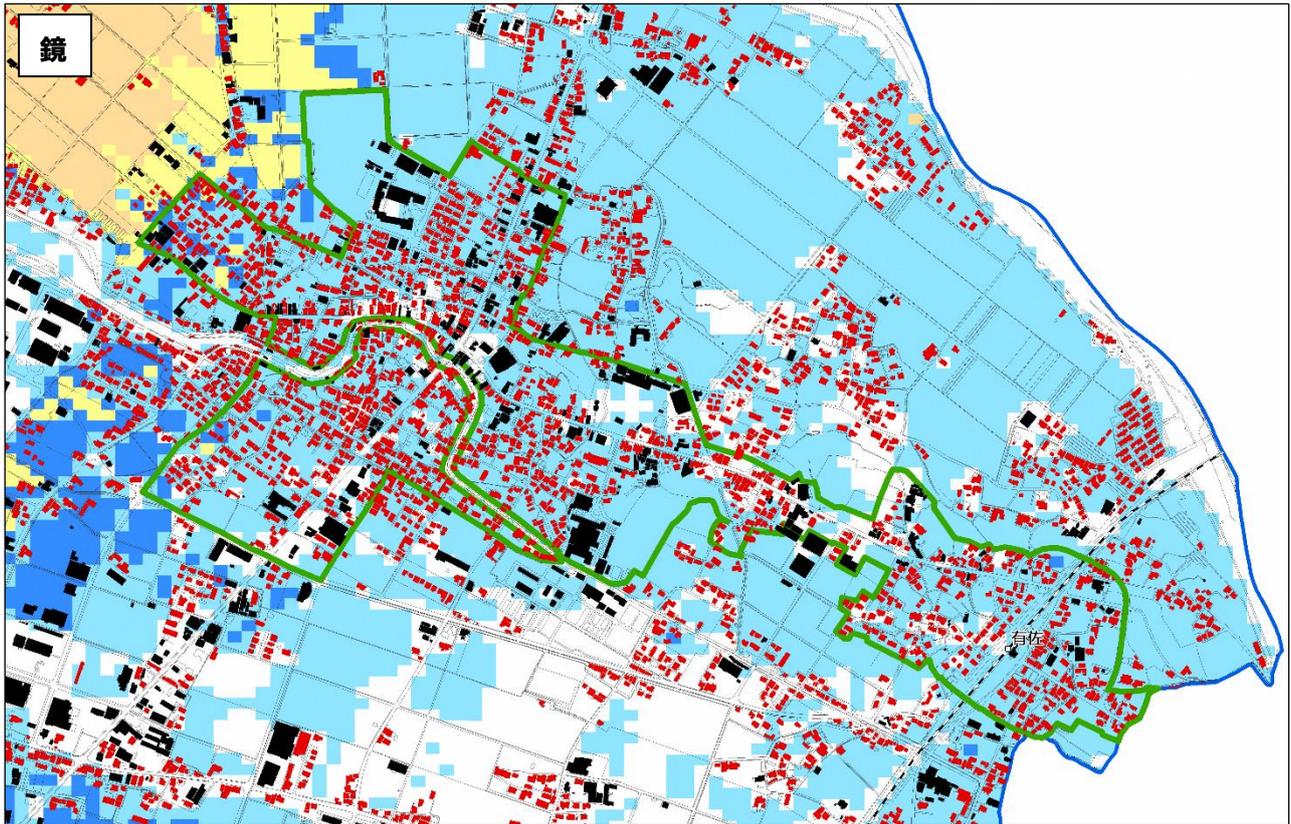
●肥後高田駅北側、日奈久温泉駅西側において、24～72 時間未満（3日間）の洪水浸水継続時間となる区域内に住宅が多数存在しており、浸水時、長期にわたり孤立する可能性があります。

図：洪水浸水継続時間（想定最大）×住宅



- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>□ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>● 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>□ 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水継続時間（想定最大規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 12時間未満</li> <li>■ 12～24時間未満（1日間）</li> <li>■ 24～72時間未満（3日間）</li> <li>■ 72～168時間未満（1週間）</li> </ul> | <p>建物用途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住宅系建物</li> <li>■ 非住宅系建物</li> </ul> |
|--|---|---|

図：洪水浸水継続時間（想定最大）×住宅



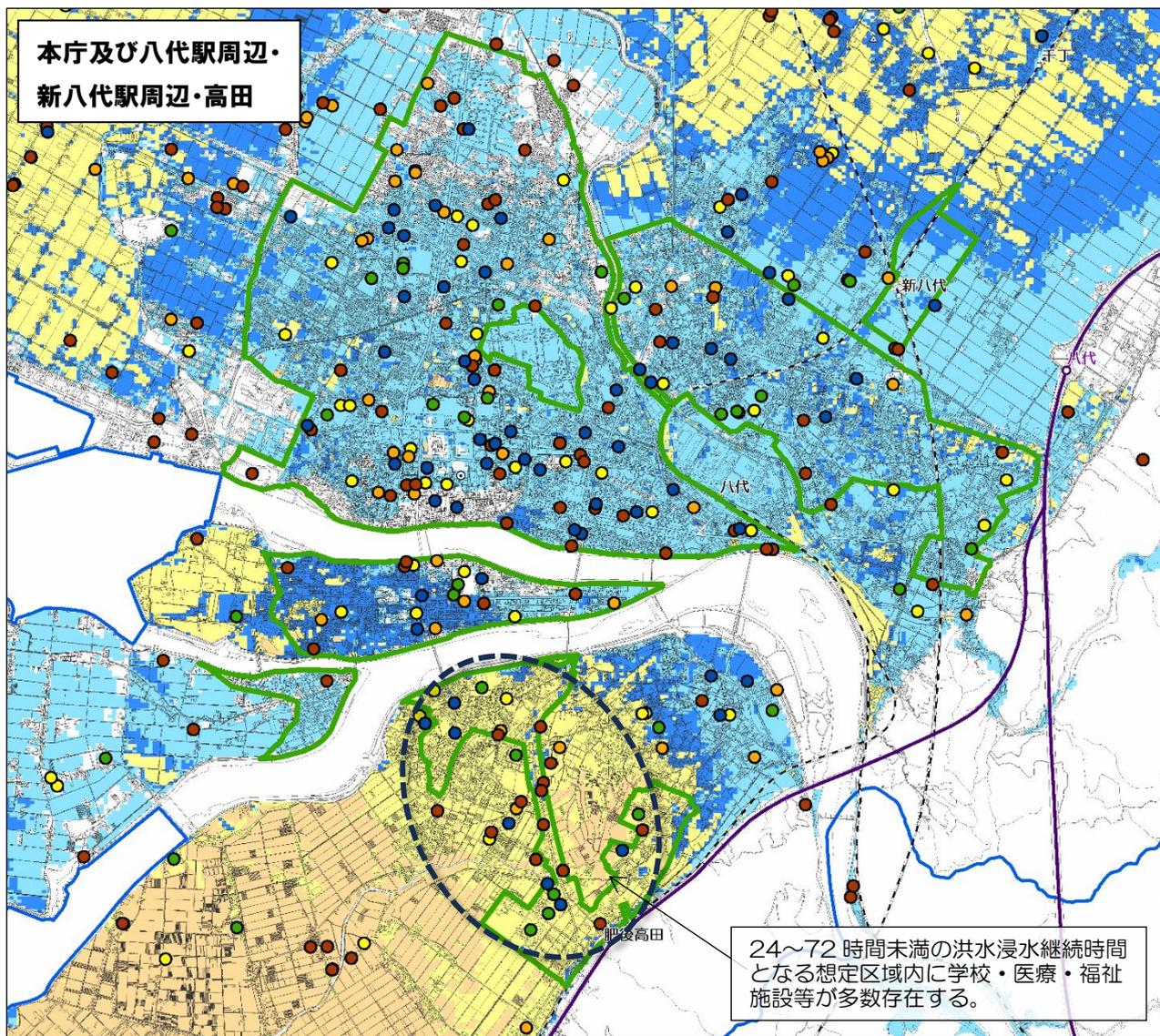
- |   |  |   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">■</span> 居住誘導区域</li> <li><span style="color: purple;">○</span> インターチェンジ</li> <li><span style="color: purple;">—</span> 高速道路</li> <li><span style="color: purple;">⊥</span> 鉄道駅</li> <li><span style="color: purple;">—</span> 鉄道路線</li> <li><span style="color: purple;">◎</span> 市役所</li> <li><span style="color: purple;">△</span> 支所</li> <li><span style="color: blue;">□</span> 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水継続時間（想定最大規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: lightblue;">■</span> 12時間未満</li> <li><span style="color: blue;">■</span> 12~24時間未満（1日間）</li> <li><span style="color: yellow;">■</span> 24~72時間未満（3日間）</li> <li><span style="color: orange;">■</span> 72~168時間未満（1週間）</li> </ul> | <p>建物用途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: red;">■</span> 住宅系建物</li> <li><span style="color: black;">■</span> 非住宅系建物</li> </ul> |
|---|--|---|

⑤施設の継続利用の可能性

**洪水浸水継続時間(想定最大規模) × 都市機能(医療・福祉施設等)**

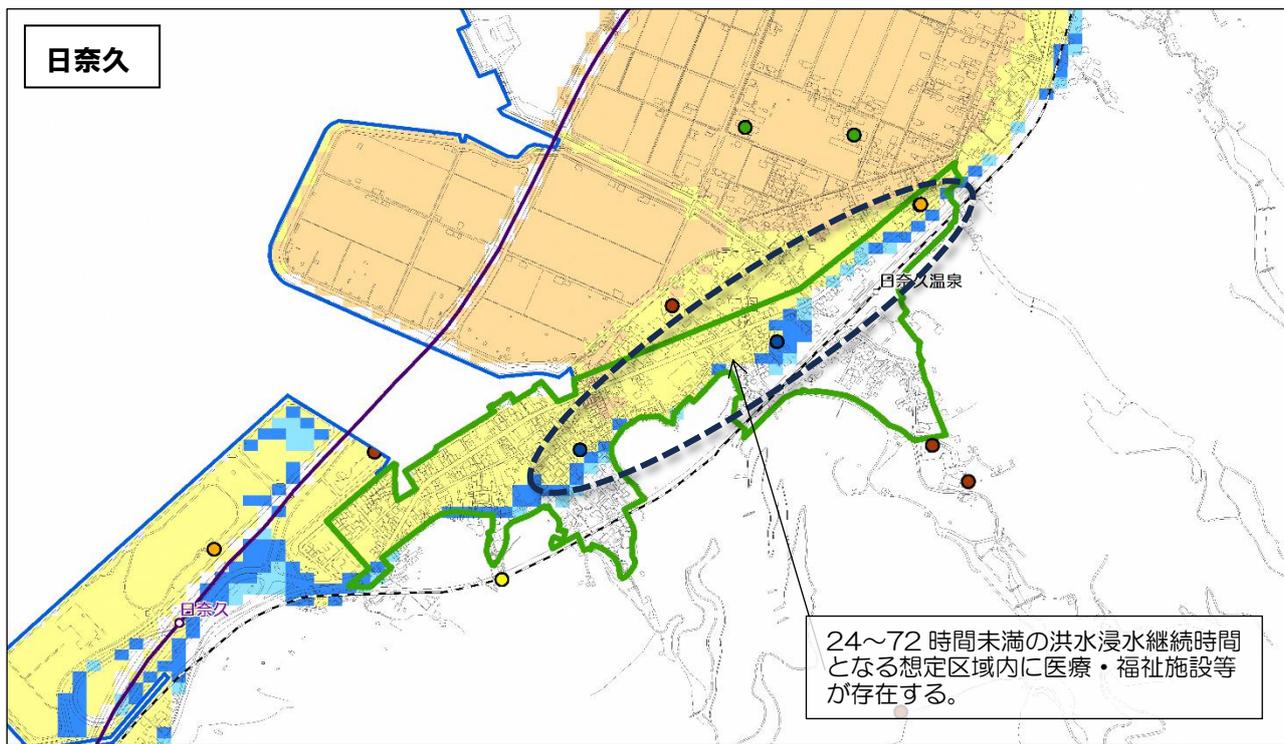
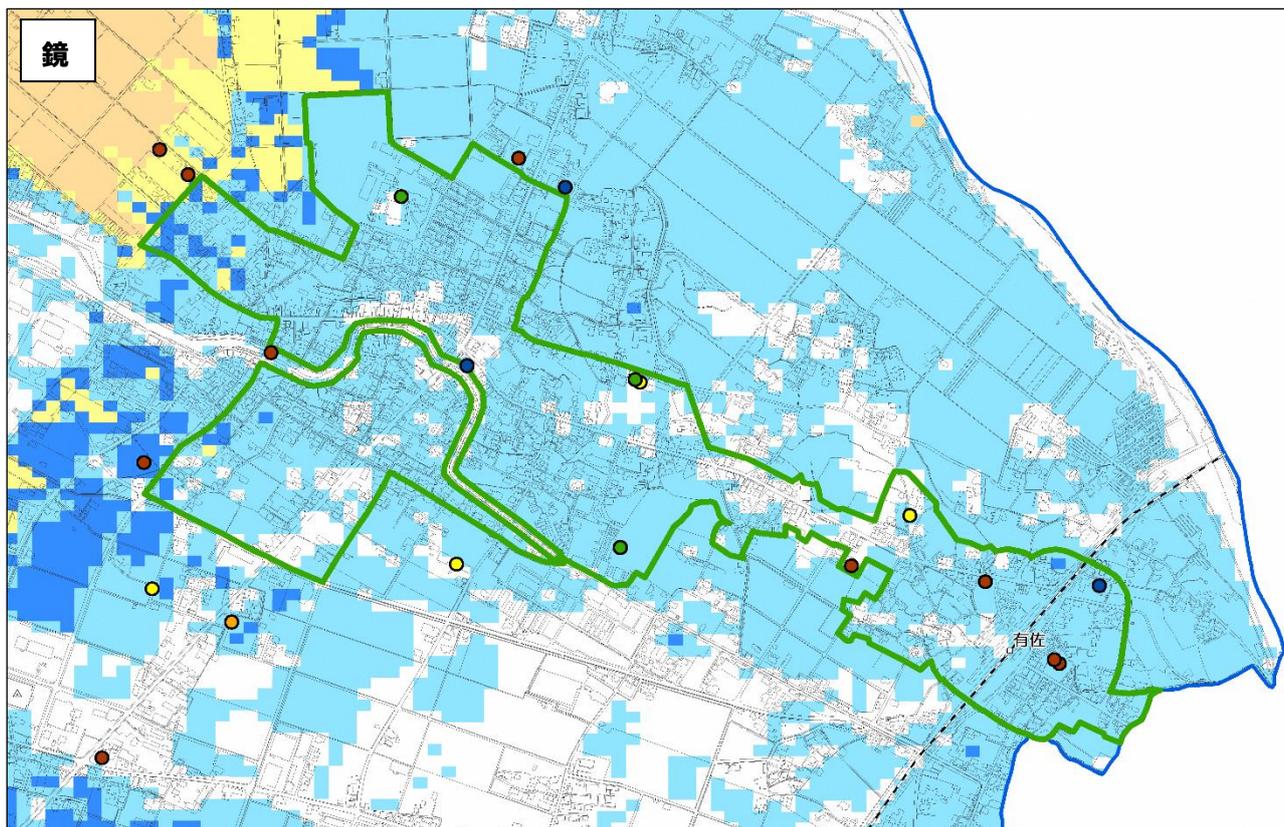
●肥後高田駅北側、日奈久温泉駅西側において、24～72 時間未満(3日間)の洪水浸水継続時間となる区域内に医療・福祉施設等が多数存在しており、施設の継続利用が困難になる可能性があります。

図：洪水浸水継続時間(想定最大) × 都市機能(医療・福祉施設等)



- |  |   |  |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>□ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>◎ 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>■ 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水継続時間(想定最大規模)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 12時間未満</li> <li>■ 12～24時間未満(1日間)</li> <li>■ 24～72時間未満(3日間)</li> <li>■ 72～168時間未満(1週間)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中高校・短大・専門学校</li> <li>● 医療施設(内科・外科・小児科を含む)</li> <li>● 高齢者福祉施設</li> <li>● 障がい者福祉施設</li> <li>● 子育て支援施設</li> </ul> |
|--|---|--|

図：洪水浸水継続時間（想定最大）×都市機能（医療・福祉施設等）



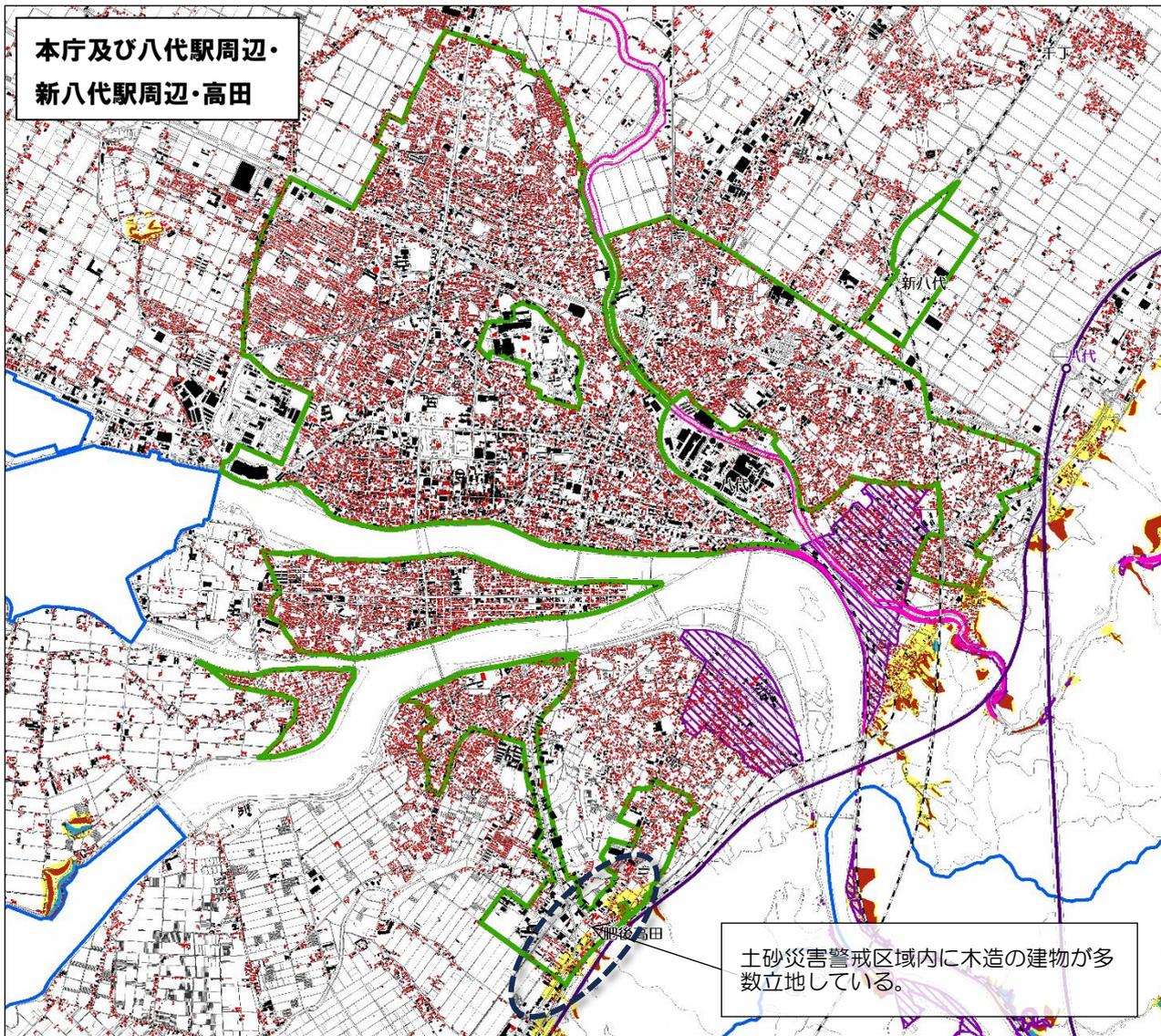
- |  |   |  |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>⊥ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>● 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>□ 都市計画区域</li> </ul> | <p>洪水浸水継続時間（想定最大規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 12時間未満</li> <li>■ 12～24時間未満（1日間）</li> <li>■ 24～72時間未満（3日間）</li> <li>■ 72～168時間未満（1週間）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中高校・短大・専門学校</li> <li>● 医療施設（内科・外科・小児科を含む）</li> <li>● 高齢者福祉施設</li> <li>● 障がい者福祉施設</li> <li>● 子育て支援施設</li> </ul> |
|--|---|--|

⑥家屋倒壊の危険性

**(家屋倒壊等氾濫想定区域 + 土砂災害) × 木造・非木造建物**

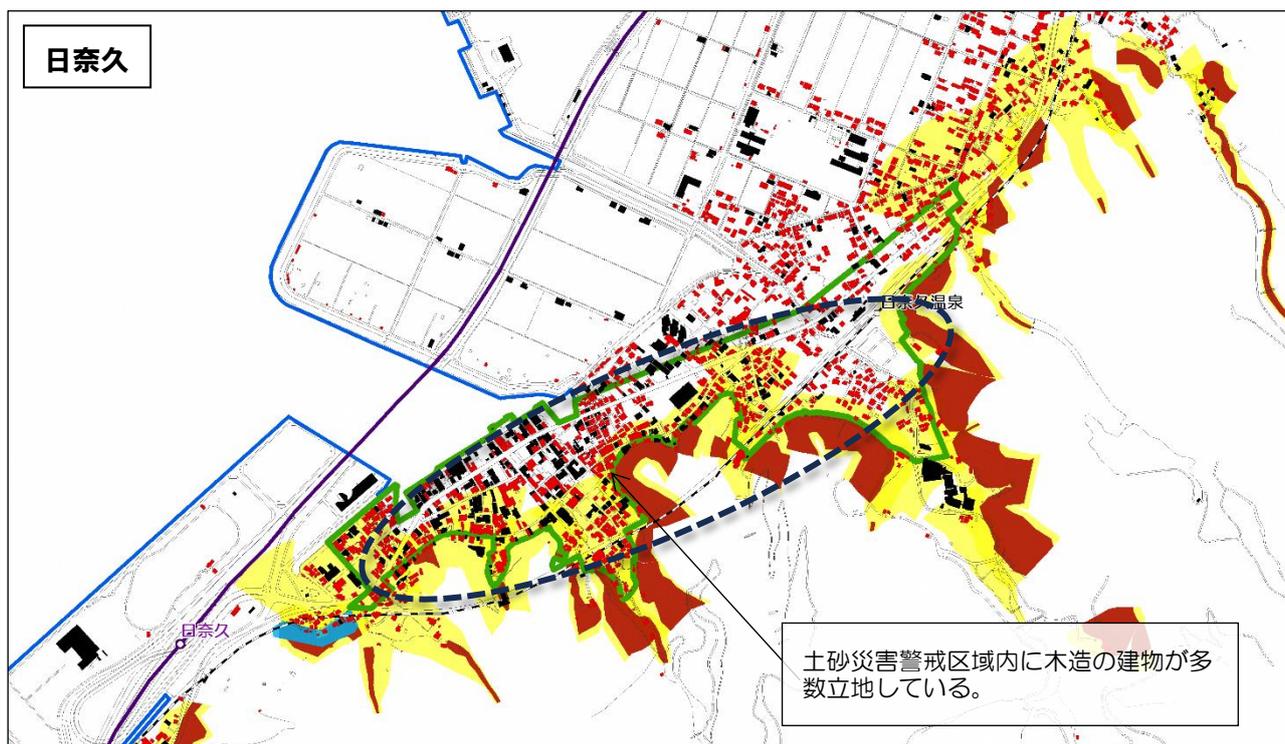
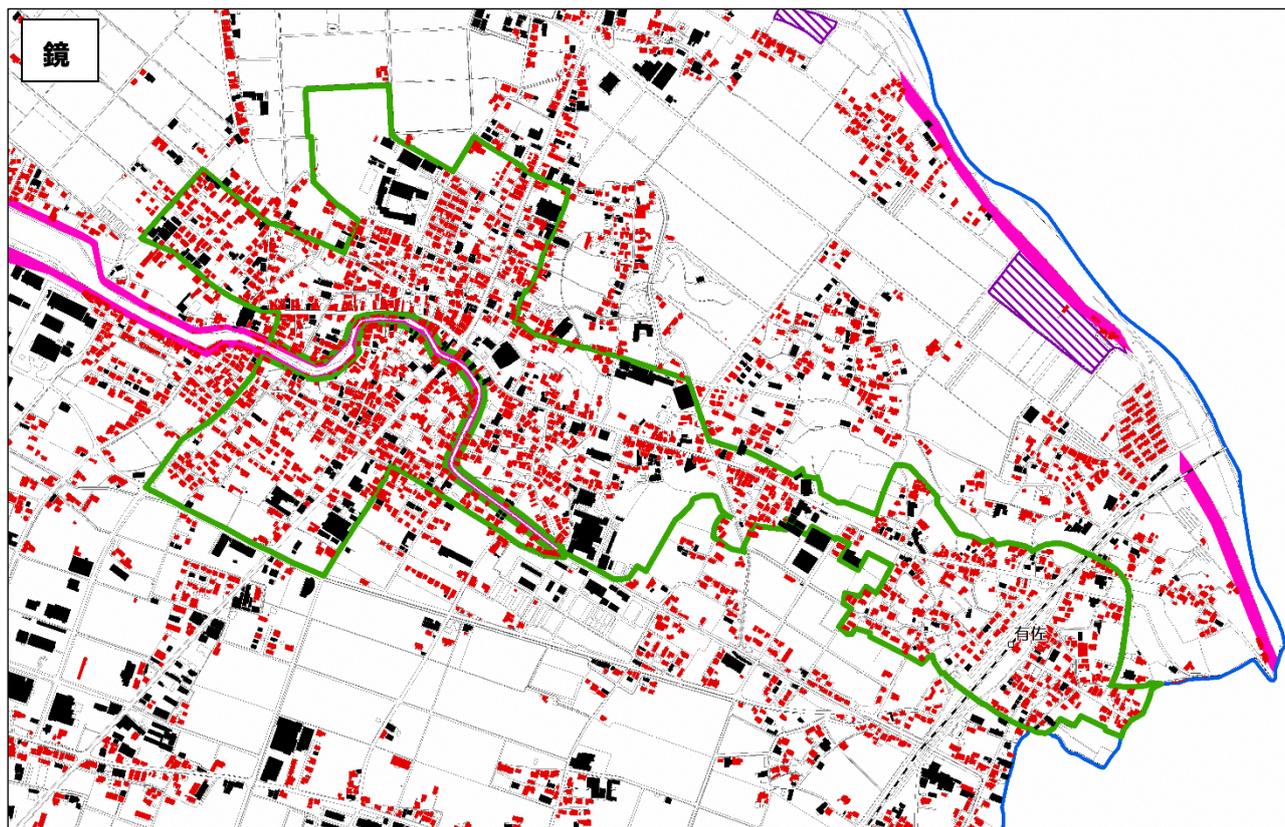
●肥後高田駅周辺や日奈久温泉駅西側の土砂災害警戒区域内に木造の建物が多数立地しており、災害時の家屋倒壊の危険性が高くなっています。

図：(家屋倒壊等氾濫想定区域 + 土砂災害) × 木造・非木造建物



- |  |   |  |
|--|---|--|
| <span style="color: green;">■</span> 居住誘導区域  | <span style="color: magenta;">■</span> 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食) | 建物構造                                     |
| <span style="color: blue;">○</span> インターチェンジ | <span style="color: purple;">■</span> 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)   | <span style="color: red;">■</span> 木造    |
| <span style="color: purple;">—</span> 高速道路   | <span style="color: brown;">■</span> 土砂災害特別警戒区域           | <span style="color: black;">■</span> 非木造 |
| <span style="color: blue;">□</span> 鉄道駅      | <span style="color: orange;">■</span> 土砂災害警戒区域            | <span style="color: gray;">■</span> 不明   |
| <span style="color: black;">—</span> 鉄道路線    | <span style="color: cyan;">■</span> 急傾斜地崩壊危険区域            |  |
| <span style="color: black;">●</span> 市役所     |   |  |
| <span style="color: black;">△</span> 支所      |   |  |
| <span style="color: blue;">■</span> 都市計画区域   |   |  |

図：(家屋倒壊等氾濫想定区域+土砂災害) ×木造・非木造建物



- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居住誘導区域</li> <li>○ インターチェンジ</li> <li>— 高速道路</li> <li>□ 鉄道駅</li> <li>— 鉄道路線</li> <li>● 市役所</li> <li>△ 支所</li> <li>□ 都市計画区域</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)</li> <li>■ 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)</li> <li>■ 土砂災害特別警戒区域</li> <li>■ 土砂災害警戒区域</li> <li>■ 急傾斜地崩壊危険区域</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物構造</li> <li>■ 木造</li> <li>■ 非木造</li> <li>■ 不明</li> </ul> |
|--|---|---|

### 7-3 防災上の課題の抽出

前述の災害ハザード情報と都市の情報の重ね合わせによる分析結果を踏まえ、地域ごとに防災上の課題を整理します。

■防災上の課題の整理（居住誘導区域内）（●：課題あり）

防災上の課題	関連する災害リスク	本庁及び八代駅周辺	新八代駅周辺	高田	鏡	日奈久
垂直避難が困難な建物が集積する	洪水	●	—	●	—	●
	高潮	●	●	●	●	●
	津波	●	—	—	●	●
浸水深の大きな地域に都市機能（医療・福祉施設等）が存在する	洪水	●	—	●	—	—
	高潮	●	—	●	●	—
	津波	●	—	—	—	—
浸水想定のある区域内で避難場所から離れている	洪水	●	●	●	●	●
	高潮	●	—	—	●	—
浸水継続時間が長く、長時間孤立する可能性のある住宅、都市機能（医療・福祉施設等）が存在する（洪水）	洪水	●	—	●	—	●
土砂災害警戒区域内に倒壊の危険性の高い木造住宅が存在する	土砂災害	—	—	●	—	●

## 7-4 地域生活拠点区域の災害リスク分析及び課題の抽出

### (1) 地域生活拠点区域の災害ハザード情報の整理と災害リスク分析

ここでは、本市の地域生活拠点区域の災害リスクによる影響を把握するため、以下のハザード情報について整理します。

地域生活拠点区域内においては、次の表のとおり、災害ハザードが存在します。

#### ■災害ハザード情報一覧（地域生活拠点区域内）

項目	災害ハザード情報	備考	千丁	坂本	東陽	泉
洪水	浸水想定区域 (想定最大規模)		○	○	○	○
	家屋倒壊等氾濫想定区域 (想定最大規模)	氾濫流 河岸浸食	○	○	○	—
	浸水継続時間 (想定最大規模)		○	○	○	○
	浸水想定区域 (計画規模)		○	○	○	○
	浸水想定区域 (多段階：1/10、1/30、 1/50、計画規模) ・現況（R3年度） ・短期整備後（R11年度末）	球磨川 水系のみ	○	—	—	○
高潮	浸水想定		—	—	—	○
津波	浸水想定区域		—	—	—	○
土砂	土砂災害警戒区域		○	○	○	—
	土砂災害特別警戒区域		—	—	—	—
	急傾斜地崩壊危険区域		—	—	—	—
大規模盛土造成地			○	—	—	—
地震	地震による揺れやすさ		○	○	○	○
	地震による建物の全壊率		○	○	○	○

地域生活拠点区域においても、各災害ハザード情報と都市の情報（建物分布、避難所、都市機能）を重ね合わせ、どのような災害リスクがあるかについて分析します。

居住誘導区域の災害リスク分析と同様、洪水浸水想定区域のデータによる分析については、想定最大規模の浸水想定区域との重ね合わせを行うこととします。

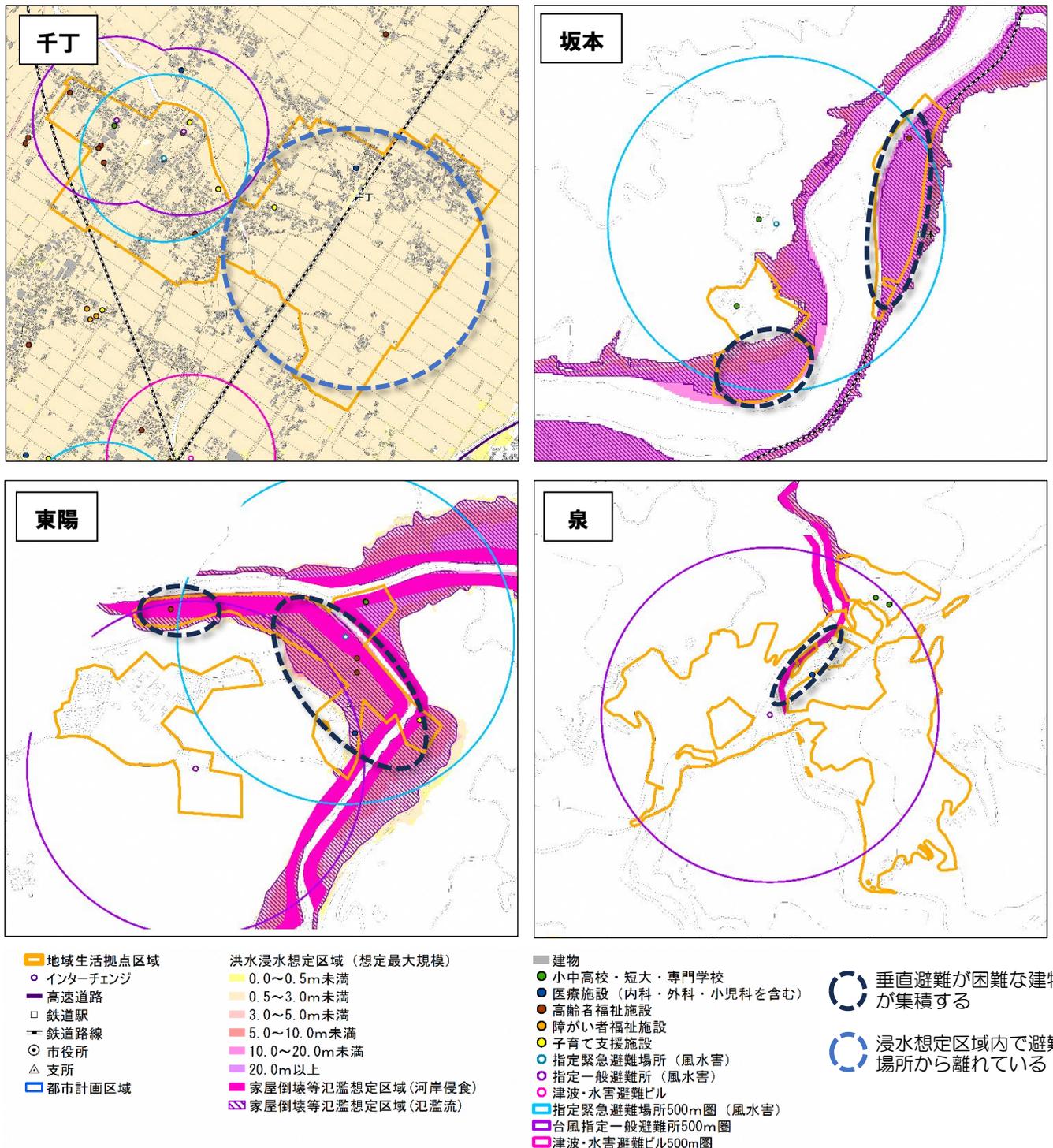
なお、地震のリスクについても居住誘導区域と同様に影響の範囲や程度を即地的に定めることに限界があり、本計画による災害リスクのコントロールが困難であることから、分析の対象からは除外しますが、地震リスクへの対応として、防災機能の向上を目指し、全市的に建物の耐震化の推進に取り組んでいきます。

①洪水

**洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 建物 × 避難場所 × 都市機能(医療・福祉施設等)**

- 千丁においては、全域に浸水深0.5~3.0mの洪水浸水想定区域が指定されているものの、千丁駅を含む区域東部は、避難場所から離れています。
- 坂本の球磨川沿いにおいては、宅地かさ上げにより、浸水区域が変更となる見込みです。
- 東陽の氷川及び川俣川沿い、泉の氷川沿いにおいては、5.0~10.0mの洪水浸水想定区域と家屋倒壊等氾濫想定区域が指定され、建物も多く立地し、医療・福祉施設等の立地も見られます。

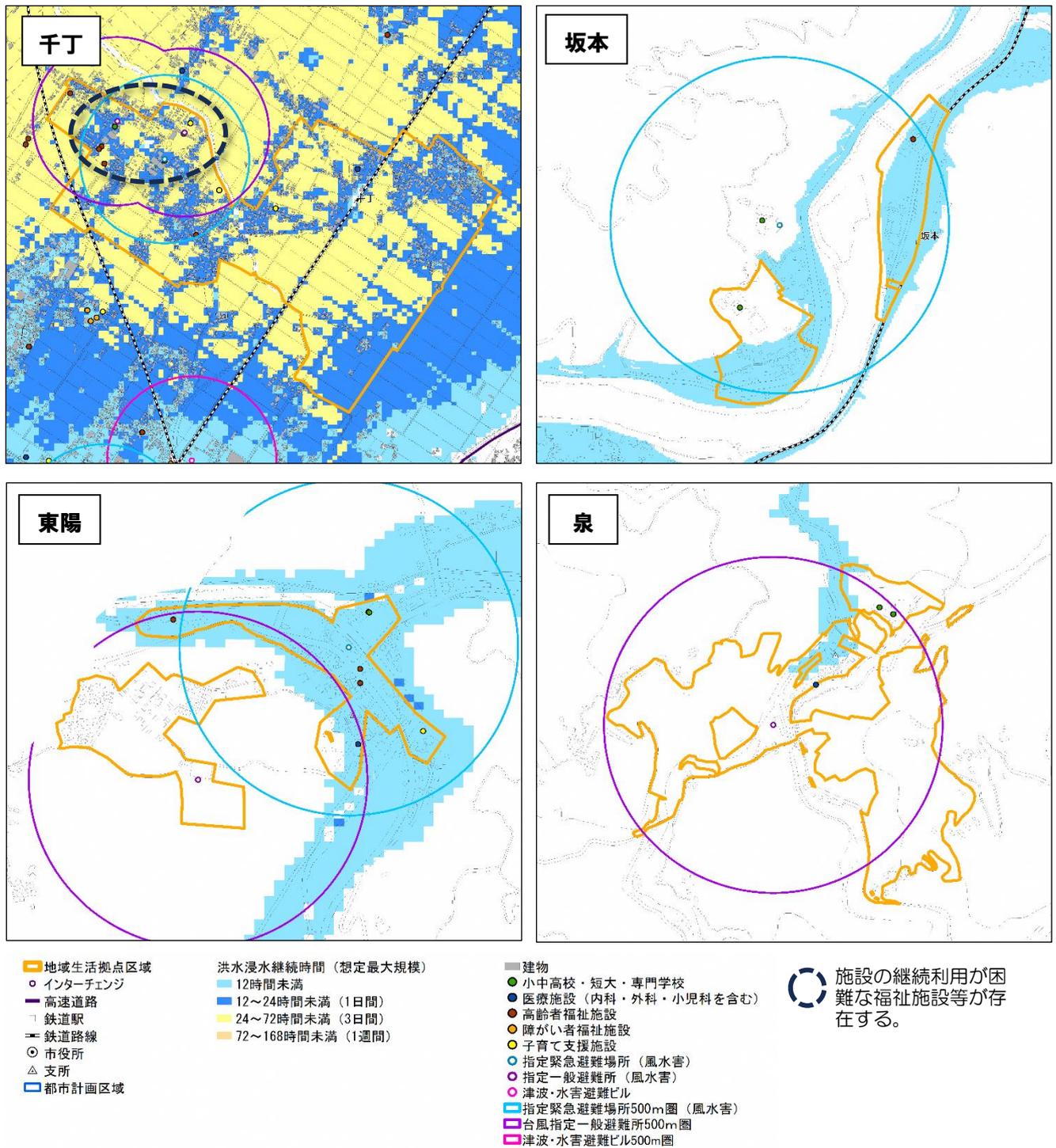
図：洪水リスク（洪水浸水想定区域（想定最大規模）・家屋倒壊等氾濫想定区域）  
×建物×避難場所×都市機能（医療・福祉施設等）



**洪水浸水継続時間(想定最大規模) × 建物 × 避難場所 × 都市機能(医療・福祉施設等)**

●千丁においては、想定最大規模の洪水浸水想定区域のうち、洪水浸水継続時間が24～72時間(3日間)となる区域が広範囲に存在し、福祉施設等も立地しており、施設の継続利用が困難となる可能性があります。

図：洪水リスク(洪水浸水継続時間(想定最大規模) × 建物 × 避難場所 × 都市機能(医療・福祉施設等))

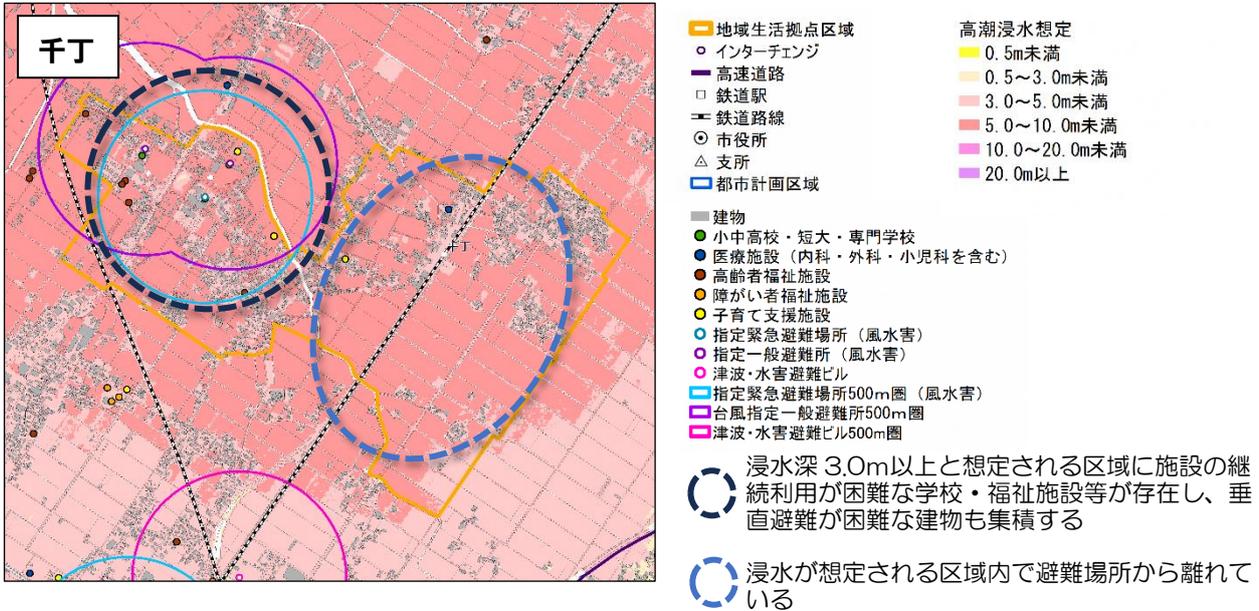


②高潮

**高潮浸水想定 × 建物 × 避難場所 × 都市機能(医療・福祉施設等)**

- 千丁においては、高潮による浸水深が5.0~10.0mと想定される区域が広範囲に見られ、学校・福祉施設やその他の建物も多数立地し、一部避難場所から遠い場所も存在しています。
- 坂本、東陽、泉については、高潮による浸水は想定されていません。

図：高潮リスク（高潮浸水想定）×建物×避難場所×都市機能（医療・福祉施設等）

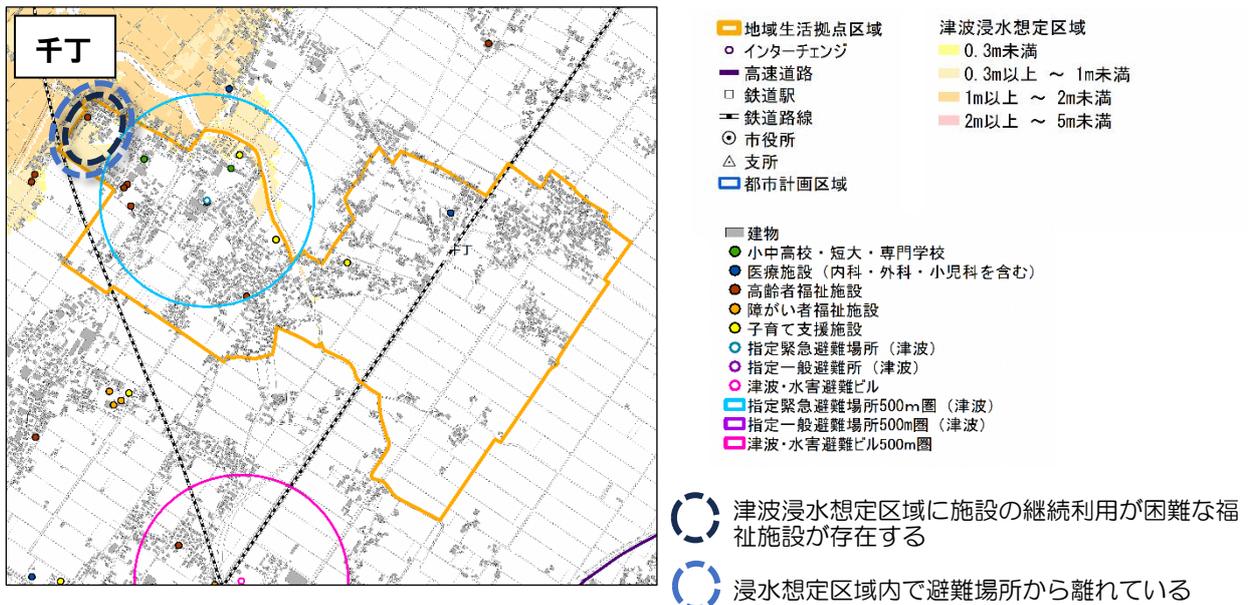


③津波

**津波浸水想定区域 × 建物 × 避難場所 × 都市機能(医療・福祉施設等)**

- 千丁西部の一部に、最大浸水深0.3~0.5mの津波浸水想定区域があり、福祉施設と建物が立地し、一部避難場所から遠い場所も存在しています。
- 坂本、東陽、泉については、津波による想定区域の設定はありません。

図：津波リスク（津波浸水想定区域）×建物×避難場所×都市機能（医療・福祉施設等）

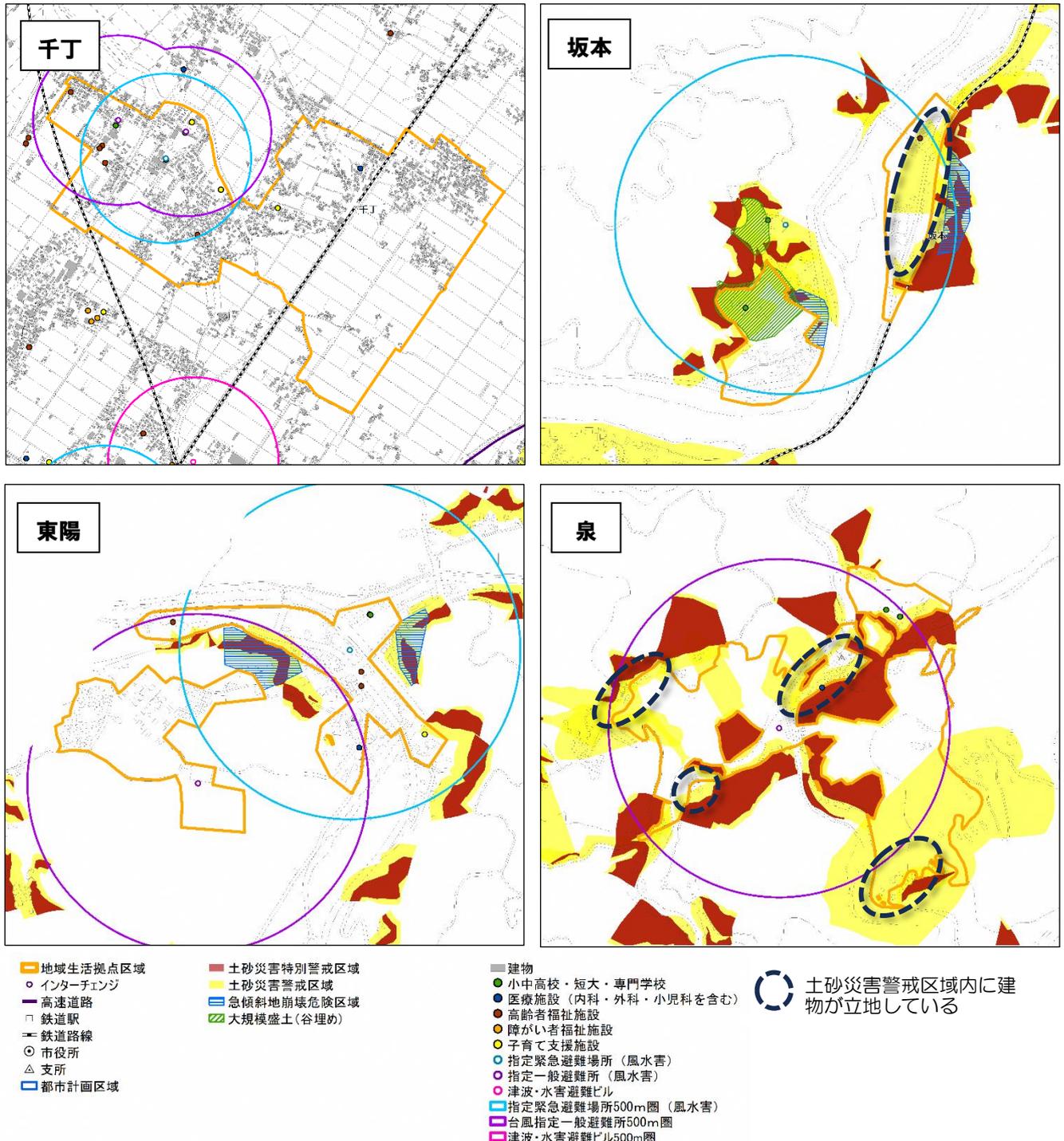


④土砂災害

**土砂災害リスク × 建物 × 避難場所 × 都市機能(医療・福祉施設等)**

- 坂本においては、坂本駅西側と坂本中学校周辺に土砂災害警戒区域の指定が見られる他、坂本中学校周辺に谷埋めによる大規模盛土の区域が存在し、災害時に倒壊の危険のある建物も見られます。
- 泉においては、土砂災害警戒区域内に建物が存在し、災害時の家屋倒壊の危険性が高くなっています。

図：土砂災害リスク（土砂災害警戒区域・特別警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域・大規模盛土）  
×建物×避難場所×都市機能（医療・福祉施設等）



(2) 地域生活拠点区域の防災上の課題の抽出

前述の災害ハザード情報と都市の情報の重ね合わせにより、地域ごとに防災上の課題を整理します。

■防災上の課題の整理（地域生活拠点区域内）（●：課題あり）

防災上の課題	関連する災害リスク	千丁	坂本	東陽	泉
垂直避難が困難な建物が集積する	洪水	—	●	●	●
	高潮	●	—	—	—
	津波	●	—	—	—
浸水深の大きな地域に都市機能（医療・福祉施設等）が存在する	洪水	—	●	●	—
	高潮	●	—	—	—
	津波	●	—	—	—
浸水想定のある区域内で避難所から離れている	洪水	●	—	—	—
	高潮	●	—	—	—
	津波	●	—	—	—
浸水継続時間が長く、長時間孤立する可能性のある住宅、都市機能（医療・福祉施設等）が存在する（洪水）	洪水	●	—	—	—
土砂災害警戒区域内に倒壊の危険性の高い木造住宅が存在する	土砂災害	—	●	—	●
家屋倒壊等氾濫想定区域内に建物や都市機能（医療・福祉施設等）が存在する	洪水	—	●	●	●

## 7-5 防災まちづくりの将来像および取組方針の設定

### (1) 防災まちづくりの将来像

本市における防災上の課題を踏まえ、それぞれの災害リスクを回避・低減する取組により安心・安全を確保する必要があります。また、国、県、市、事業者、地域団体等との連携強化を図り、地域ごとの災害リスクや状況に応じた事前防災型の災害に強い地域づくりを、多様な主体との協働により推進することが必要です。

ここでは、防災上の課題を踏まえ、本市の総合計画や国土強靱化地域計画、地域防災計画、球磨川水系流域治水プロジェクト、令和2年7月豪雨災害で甚大な被害を受けた坂本町で策定された「八代市坂本町復興まちづくり計画」等の上位・関連計画との整合を図った上で、防災まちづくりの将来像を以下のように定めます。

防災まちづくりの  
将来像

災害対策の強化と早期災害復興による  
安全に暮らし続けられる居住地の形成

### (2) 防災上の課題を踏まえた取組方針

防災まちづくりの将来像を踏まえ、災害時に被害を発生させないようにする「災害リスクの回避」に向けた取組方針、災害時にハード・ソフトの両面から被害を低減させる「災害リスクの低減」に向けた取組方針を以下のように定めます。

取組方針		対策の種別	
方針 1	災害リスクに応じた土地利用規制と誘導	災害リスクの高い場所から安全な場所への居住誘導や建築制限等により、災害リスクの回避を図ります。	災害リスクの回避
方針 2	治水対策の推進	被災した坂本町の早期復興を図るとともに、貯留機能の向上や森林整備により、球磨川水系流域において氾濫をできるだけ低減するための対策を図ります。	災害リスクの低減
方針 3	都市及び建築物の安全性の向上	道路、下水道等の基盤整備や建築物の耐震化等により、災害リスクの低減を図り、安全性の向上を推進します。	災害リスクの低減
方針 4	避難施設の確保と避難体制の強化	防災拠点や避難場所の整備及び確保、避難体制の整備等により、災害時の円滑な避難に向けた取組を推進します。	災害リスクの低減
方針 5	地域防災力の向上	地域により抱える災害リスクが異なるため、自主防災組織の設立や避難訓練の実施、地区防災計画等により地域内での連携を強化するとともに、災害に関連する情報整備を推進します。	災害リスクの低減

### (3) 災害リスク別の取組方針の設定

(1) で設定した防災まちづくりの将来像の実現に向け、洪水、高潮、津波、雨水出水、土砂災害、地震等の災害リスク別の取組方針を以下に示します。

#### ①洪水に対する取組方針

本市の想定最大規模の洪水浸水想定区域は、用途地域の大部分において指定されており、中心部も含まれていることから、居住誘導区域から全ての洪水浸水想定区域を除くことは現実的ではありません。

大雨等の事前情報による適切な早期誘導や流水治水の取組を進めることを前提に、居住誘導区域に含むこととします。

主な取組としては、国、県、市が連携し、河道掘削、堤防整備、輪中堤、宅地かさ上げ、遊水池等による流域における浸水被害の軽減を図るとともに、洪水ハザードマップの活用による災害リスクの周知・啓発、住民の早期避難意識の醸成、避難所の充実、避難行動計画の作成、災害時要支援者の支援等、総合的な対策を推進します。

#### ②高潮に対する取組方針

本市の高潮による浸水が想定される区域は、本市の中心部を含む広範囲に及んでおり、居住誘導区域から全ての浸水想定区域を除外することは現実的ではありません。また、台風等の事前情報により事前の避難が可能であることから、高潮による浸水が想定される区域の一部については、洪水への対応と同様に、総合的な防災対策を図ることを前提に、居住誘導区域に含むこととします。

主な取組としては、高潮ハザードマップの活用による災害リスクの周知・啓発、住民の早期避難意識の醸成、避難所の充実、避難行動計画の作成、災害時要支援者の支援等、総合的な対策を推進します。

#### ③津波に対する取組方針

本市の津波浸水想定区域は、八代海沿岸の広範囲に設定されており、用途地域の西端の一部にも設定されています。人口密度が比較的高い地域も含まれていることから、災害リスクの周知・啓発、早期避難体制を確立等、総合的な防災対策を早期に図ることを前提に、垂直避難が可能な浸水深 2.0m未滿の区域については、居住誘導区域に含むこととします。

主な取組としては、避難所の充実、避難路の整備、災害時要配慮者の支援、避難行動計画の作成、自主防災組織への支援等、総合的な対策を推進します。

#### ④雨水出水に対する取組方針

本市の雨水出水（内水氾濫）のリスクは、人口密度の高い中心部において高い状況にあります。雨水出水に対する取組としては、雨水貯留施設等の設置や水田を活用した貯留機能の向上、森林の整備保全を促進するとともに、内水ハザードマップの周知、避難所の充実、災害時要支援者の支援等、総合的な対策を推進します。

#### ⑤土砂災害に対する取組方針

本市の土砂災害警戒区域は、用途地域の一部にも指定されており、人口密度の比較的高い地域も含まれていることから、居住誘導区域から除くことは現実的ではありません。

特にリスクの高い土砂災害特別警戒区域については、居住誘導区域から除外し、土砂災害警戒区域については、災害リスクの周知・啓発、避難体制の確立等、総合的な防災対策を早期に図ることを前提に、居住誘導区域に含むこととします。

その他の主な取組としては、危険性の高い住宅等の除却及び移転に要する費用の補助、避難行動計画の作成、自主防災組織への支援等、総合的な対策を推進します。

#### ⑥地震に対する取組方針

布田川・日奈久断層の活動により、マグニチュード 7.9 の地震が発生した場合の本市における地震による揺れやすさを見ると、都市計画区域内の特に人口密度の高い地域での危険度が非常に高くなっています。しかしながら、地震については、局地的な被害想定が困難であるため、平時から地震リスクの周知・啓発、避難体制の確立し、被害を最小限に抑える対策を推進します。

また、建築物の耐震診断や耐震改修に対する各種補助制度活用、道路や上下水道等の都市基盤の整備・耐震化、建築物や道路等の都市基盤の耐震化等、避難行動計画の作成、自主防災組織への支援等、総合的な対策を推進します。

## 7-6 具体的な取組とスケジュール

防災まちづくりの取組方針を踏まえ、災害リスクの回避・低減に必要な具体的な取組について、ハード・ソフトの両面から設定します。取組の実施にあたっては、短期（おおむね5年程度）、中期（おおむね10年程度）、長期（おおむね20年程度）の実施時期の目標についても設定します。

### ■具体的な取組とスケジュール

取組方針	種別	取組	概要	実施主体	実施時期の目標			対象とする主な災害リスク				対象区域
					短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)	洪水・内水 高潮	津波	土砂 災害	地震	
方針1： 災害リスクに 応じた土地利 用規制と誘導	回避	八代市立地適正化計画に基づいた 居住の誘導	立地適正化計画に基づき、居住誘導区域内へ の居住の誘導を実施	市	→			●	●	●	●	市全域
	回避	災害危険区域の指定と建築制限	災害リスクの高い区域に指定した災害危険 区域（坂本町の球磨川流域の一部地域）にお いて、建築制限を実施	市	→			●				坂本町
方針2： 治水対策の推 進	低減	八代圏域二級水系流域治水プロジ ェクト・球磨川水系流域治水プロジ ェクトの推進	各プロジェクトに基づいて、河川事業だけ でなく、地域全体において「流域治水」に取り 組み、あらゆる関係者が協働して対策を推進	国・県・市	→			●		●		市全域
	低減	雨水貯留・雨水浸透施設整備	学校の校庭、公園等における雨水貯留施設、 雨水浸透施設の整備	市・事業者	→			●				市全域
	低減	森林環境整備	森林の有する多面的機能（洪水の緩和や水質 の浄化、土壌の浸食・流出を防ぐ等）の向上	県・市	→					●		市全域
	低減	八代海岸地区の適切な維持管理	樋門の操作点検、海岸保全区域のパトロール	県	→			●	●			八代海岸
方針3： 都市及び建築 物の安全性の 向上	低減	公共施設の耐震化	下水道の重要施設（市役所・病院・第一避難 所、ポンプ場）及び急所施設（処理場）まで の管渠及び中継ポンプ場や、上水道、橋梁等 の公共施設の耐震化	市	→						●	市全域
	低減	民間建築物耐震化補助	戸建木造住宅の耐震診断、耐震改修、耐震建 替に係る費用の一部を補助 緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断に係る 費用の一部を補助	市	→						●	市全域
	低減	危険ブロック塀等除却補助	危険ブロック塀等の解体費用の一部を補助 し、地震発生時のブロック塀倒壊による事故 防止、災害時の避難路を確保する	市	→						●	市全域
	低減	都市計画道路等の整備	都市計画道路等の整備実現に向けた検討及 び調整	市	→			●	●	●	●	市全域
	低減	土地区画整理事業の推進	地区内の道路、公園等の公共施設の整備改善 を行い、宅地の利用増進を図り、安全で快適 な居住環境を形成	市	→						●	八代市古閑中町

取組方針	種別	取組	概要	実施主体	実施時期の目標			対象とする主な災害リスク				対象区域
					短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)	洪水・内水 高潮	津波	土砂 災害	地震	
方針4： 避難施設の確保と避難体制の強化	低減	防災拠点となる学校施設の維持管理及び環境改善	学校施設の避難時の屋内・屋外トイレ環境の改善、照明の省エネ化、外壁の耐震化、バリアフリー化等を実施	市	→			●	●	●	●	市全域
	低減	防災拠点の整備	「坂本町復興まちづくり計画」に基づき、球磨川両岸に災害時の支所代替機能及び災害対応機能を有した「防災拠点施設」を整備	市	→			●	●	●	●	坂本町
	低減	公園の改修及び維持管理	老朽化した施設の改修やバリアフリー化、長寿命化を図るための適切な維持管理	市	→			●	●	●	●	市全域
	低減	備蓄体制及び災害時支援体制の整備	防災拠点への備蓄品を整備するとともに、市内各事業所と物資等の確保や資機材の提供等に関する協定締結を推進	市・事業者	→			●	●	●	●	市全域
	低減	避難場所の確保と適切な整備	災害リスクに応じた避難場所を徒歩圏内に確保するとともに、避難生活の長期化を見据え、空調設備や洋式トイレ、施設のバリアフリー化等、避難生活の環境を良好に保つための施設整備等を実施	市	→			●	●	●	●	市全域
	低減	避難行動要支援者対策	避難行動要支援者の支援を円滑かつ的確に実施するための具体的な避難支援計画（個別計画）の策定	市・自治会	→			●	●	●	●	市全域
方針5： 地域防災力の向上	低減	自主防災組織の育成強化	自主防災組織活動活性化事業補助金の交付、自主防災リーダー育成研修会の実施、地区防災計画作成研修の実施	市・自治会・事業者	→			●	●	●	●	市全域
	低減	防災行動力の向上	各種広報活動、防災マップの整備及び周知、マイタイムラインの作成促進、各種防災訓練の実施	市・自治会	→			●	●	●	●	市全域
	低減	情報連絡体制の整備	防災行政情報通信システム整備、衛星携帯電話の配備、衛星安否確認システム（Q-ANPI）の運用の実施	市	→			●	●	●	●	市全域

## 7-7 防災まちづくりにおける目標値の設定

防災まちづくりの将来像の実現に向けて、具体的な取組を計画的に推進し、その進捗状況を確認するため、目標指標及び目標値を取組方針別に設定し、本計画の適切な進捗管理を行います。

取組方針	目標指標	現況値	目標値 (令和17年)
方針1： 災害リスクに応じた土地利用規制と誘導	災害リスクの高い区域※1に居住する人口割合	23.4% (令和2年)	22%
方針2： 治水対策の推進	公共下水道整備区域面積	1,633ha (令和6年)	1,712ha
	輪中堤・宅地かさ上げ数	2地区 (令和6年)	31地区
方針3： 都市及び建築物の安全性の向上	市内住宅の耐震化率	77% (平成30年)	100%
	下水道の耐震化率	64% (令和6年)	75%
	都市計画道路の整備率	81% (令和6年)	84%
	土地区画整理事業の整備率	85.6% (令和6年)	100%
方針4： 避難施設の確保と避難体制の強化	民間施設を避難場所として確保した校区の数※2	19校区 (令和6年)	20校区
	緊急時における避難体制や市からの情報提供が整ってきたと感じる市民の割合	50.4% (令和6年)	70%
方針5： 地域防災力の向上	自主防災組織結成率	87.88% (令和6年)	95%
	防災行政情報通信システムの登録件数	28,186件 (令和6年)	43,300件

※1：災害リスクの高い区域：居住誘導区域から基本的に除外することとしている「土砂災害特別警戒区域」、「急傾斜地崩壊危険区域」、「洪水浸水想定区域（想定最大規模）のうち浸水深3.0m以上の区域」、「洪水時家屋倒壊等氾濫想定区域」、「津波浸水想定区域のうち浸水深2.0m以上の区域」

※2：校区は行政工区のこと。

## 第8章 計画の目標及び評価方法

### 8-1 計画の目標値

#### (1) 基本的な考え方

立地適正化計画を策定した場合には、概ね5年毎に計画に記載された施策・事業の実施状況について調査、分析及び評価を行い、立地適正化計画の進捗状況や妥当性等を精査、検討した上で、必要に応じて適切に立地適正化計画や関連する都市計画の見直し等を行うことが望まれます。

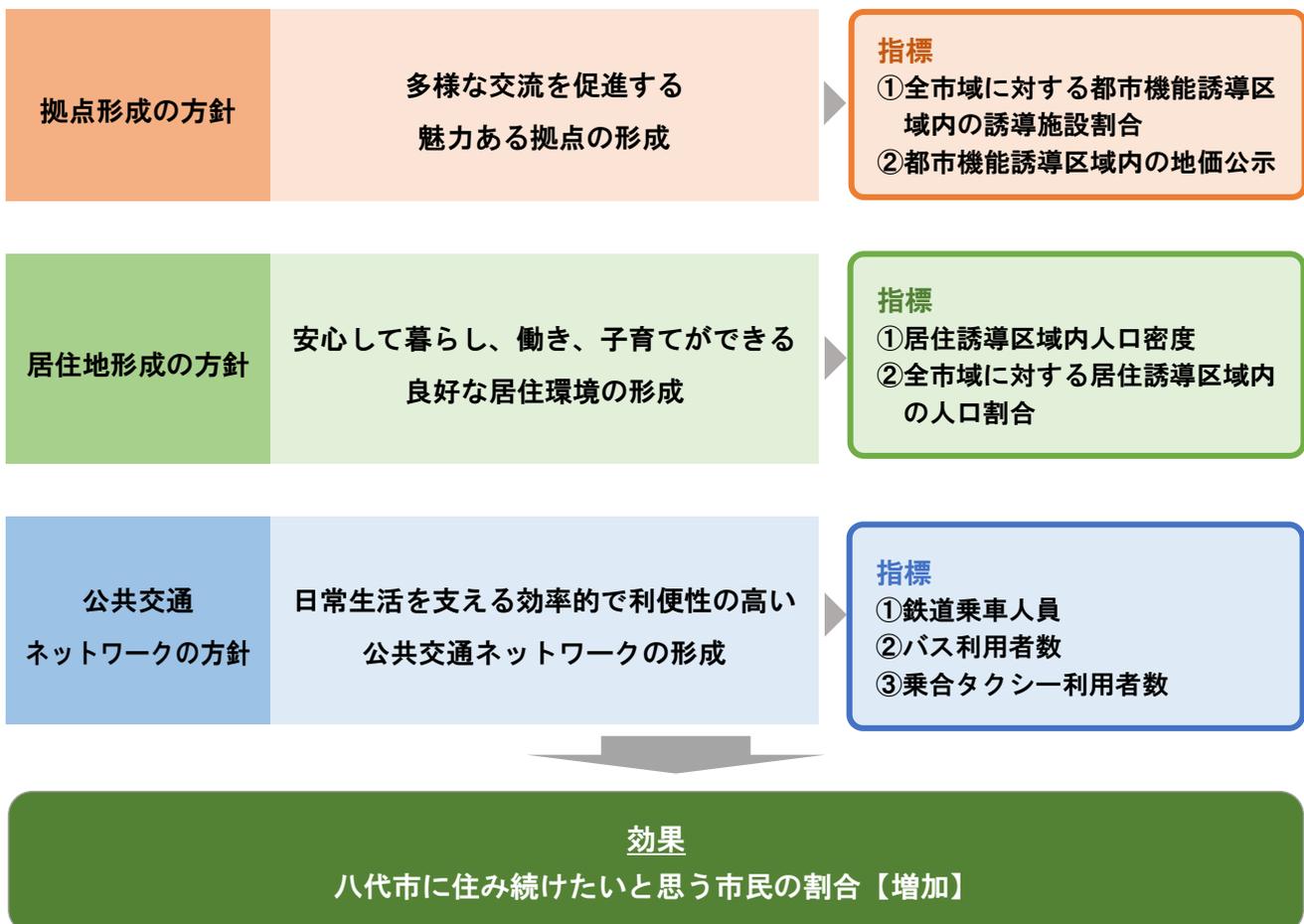
この際、立地適正化計画の必要性や妥当性を市民等の関係者に客観的かつ定量的に提示する観点からも、例えば、生活利便性、健康福祉、行政運営等の観点から、施策の有効性を評価するための指標及びその目標値を設定するとともに、目標値が達成された際に期待される効果についても定量化するなどの検討を行うことが望まれます。

また、立地適正化計画の評価にあたり、当該目標値の達成状況や効果の発現状況等について適切にモニタリングしながら、分析及び評価することが望まれます。

(都市計画運用指針より)

#### (2) 本計画における目標値設定の考え方

上記の考え方を踏まえ、まちづくりの方針で示した3つの施策・誘導方針ごとに各種施策の進捗状況を確認するための指標及び目標値を設定するとともに、目標値が達成された際に期待される効果目標を設定し、本計画の適切な進捗管理を行います。



### (3) 目標値の設定

#### ①拠点形成（都市機能誘導）の目標

多様な交流を促進する魅力ある拠点の形成に向けては、各都市機能誘導区域における誘導施設の維持・誘導により、各地域の拠点性を高めることが重要となることから、「全市域に対する都市機能誘導区域内の誘導施設割合」を目標指標として設定します。

また、都市機能誘導区域内での交流や活動の増加することで、当該区域での民間投資の活発化による地価の維持・上昇につながることを目指し、「都市機能誘導区域内の地価公示」を目標指標として設定します。

目標指標	現況値	令和 17 年 (中間目標)	令和 27 年 (最終目標)
全市域に対する都市機能誘導区域内の誘導施設割合	37.8% (令和 6 年)	38.0%	40.0%
都市機能誘導区域内の地価公示価格 (平均)	34,782 円/㎡ (令和 6 年)	35,000 円/㎡	35,000 円/㎡

#### ②居住地形成（居住誘導）の目標

安心して暮らし、働き、子育てができる良好な居住環境の形成に向けては、居住誘導区域内において一定の人口密度を維持することが、日常生活に必要な都市機能や各種サービスの維持・充実につながるものと考えられることから、「居住誘導区域内人口密度」及び「全市域に対する居住誘導区域内の人口割合」を目標指標として設定します。

目標指標	現況値	令和 17 年 (中間目標)	令和 27 年 (最終目標)
居住誘導区域内人口密度 (国勢調査)	34.8 人/ha (令和 2 年)	32.0 人/ha	30.0 人/ha <sup>※1</sup>
全市域に対する居住誘導区域内の人口割合 (国勢調査)	43.3% (令和 2 年)	45.0%	46.0% <sup>※2</sup>

※1：トレンド推計（過去の動態が将来も同じように推移する想定）では、令和 27 年時点で 27.8 人/ha

※2：トレンド推計（過去の動態が将来も同じように推移する想定）では、令和 27 年時点で 45.5%

③公共交通ネットワークの目標

日常生活を支える効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの形成に向けては、人口減少下においても公共交通利用者の利用者を維持・確保することが重要となることから、「鉄道乗車人員」及び「バス利用者数」及び「乗合タクシー利用者数」を目標指標として設定します。

目標指標	現況値	令和 17 年 (中間目標)	令和 27 年 (最終目標)
鉄道乗車人員 (八代駅・新八代駅・有佐駅の合計)	4,656 人/日 (令和 5 年度)	4,656 人/日	4,656 人/日
一般路線バス利用者数	27 万人/年 (令和 6 年)	27 万人/年	27 万人/年
市街地循環バス利用者数	21 万人/年 (令和 6 年)	21 万人/年	21 万人/年
乗合タクシー利用者数	2.3 万人/年 (令和 6 年)	2.3 万人/年	2.3 万人/年

④目標値の達成により得られる効果

まちづくりの方針に基づく目標を達成することにより得られる効果は、本市で調査を実施している総合計画の市民アンケートの結果である「八代市に住み続けたいと思う市民の割合」とし、数値の向上を目指します。

目標指標	現況値	令和 17 年 (中間目標)	令和 27 年 (最終目標)
八代市に住み続けたいと思う市民の割合※3	82.2% (令和 6 年)	83%	85%

※3：「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した割合の合計値

## 8-2 計画の評価と見直し

本計画は、おおむね 20 年後の将来を展望した計画としていますが、まちづくりの方針の実現に向けては、これまで長い期間をかけて形成されてきた都市構造を、人口減少社会に対応した形へと移行させるために、計画的な時間軸のなかで長期的な施策を展開していくことが必要となります。

このため、本計画に記載された誘導施策等の実施・進捗状況や目標指標の達成状況等については、おおむね5年ごとに評価を行い、計画の進捗状況や妥当性等を精査・検証するものとし、必要に応じて適宜、立地適正化計画の見直しを行うこととします。

図：計画の評価と見直しにかかる PDCA サイクルのイメージ

